

立 府 大  
館 書 圖 島 之 中

十 九



## は じ め に

大阪府立中之島図書館は「大阪図書館」と称して明治37年2月25日に開館式を行い、その歴史を刻み始めた。

今年迎えた創立90周年を記念して、『大阪府立中之島図書館 九十年』をここに刊行する。

この記念誌で当館90年の歩みを年表の形にまとめたが、これにその時々写真を加え、見て楽しいものにしようと試みた。意図が達成できたかどうかは小誌を見る方々の感想に待つしかない。

編集に当たって、当然のことながら、原記録が豊富に残っている時代もあればそうでない頃もあることが分かった。このことが年表の中で時代による項目・記述の精粗を生んでいる。しかしあまり精粗のバランスにばかりこだわると、せっかく記録が残っている時代の動きを粗くしてしまう。項目・記述の取捨選択に当たった編集委員諸子の苦心したところである。

そして編集を終わった今あらためて振り返ってみると、学に志し知識を求めてこの館を訪れた多くの人々を迎え、営々として務めに当たってきた先輩館員達の努力が、それぞれの時代の横顔を映しながら浮かび上がってくる。

現在の我々がいささかの感慨を覚えるのは、その真摯な努力の影ゆえであろうか。

その影に光を当て、将来につないでいくことの大切さを心から思う。

最後に、多忙な日常業務のかたわらこの記念誌の編集に当たった委員諸子の労を多とする。

平成6年2月25日

大阪府立中之島図書館長

足 立 悦 雄



明治37年2月25日開館日の光景

## 目 次

はじめに			
カラー口絵			
① 前史－書籍館の時代	6	⑧ 主題別開架閲覧制度の導入	32
② 草創期	8	⑨ 目録再整備の時代	36
③ 最初の10年	12	⑩ 府立2館時代へ	40
④ 大正期－発展・拡充の時代	16	⑪ 主題別閲覧制度の再編成	44
⑤ 大正から昭和へ	20	⑫ 新館建設への始動	46
⑥ 戦時下の図書館	24	付録1 当館刊行物総覧	50
⑦ 戦後の再出発	28	付録2 当館展覧会総覧	57



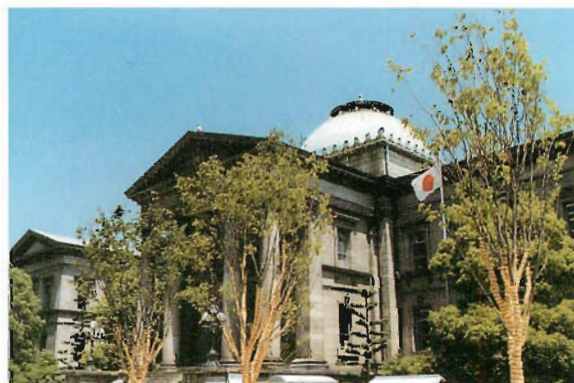
中之島図書館の四季

春



桜の頃

夏



ぬけるような青空の日

秋



紅葉の頃

冬



雪の日の朝

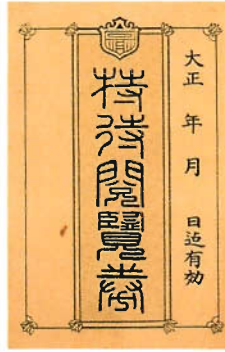
昭和61年 I F L A 大会写真コンテストで金賞受賞作品  
(当館元写真技師 日中武久氏撮影 4枚組)

創設時に使用  
していた各種の

閱 覧 券  
と  
スタンプ・印



優待券



特許閲覧券



特別閲覧10回券



特別閲覧30回券



特別閲覧券



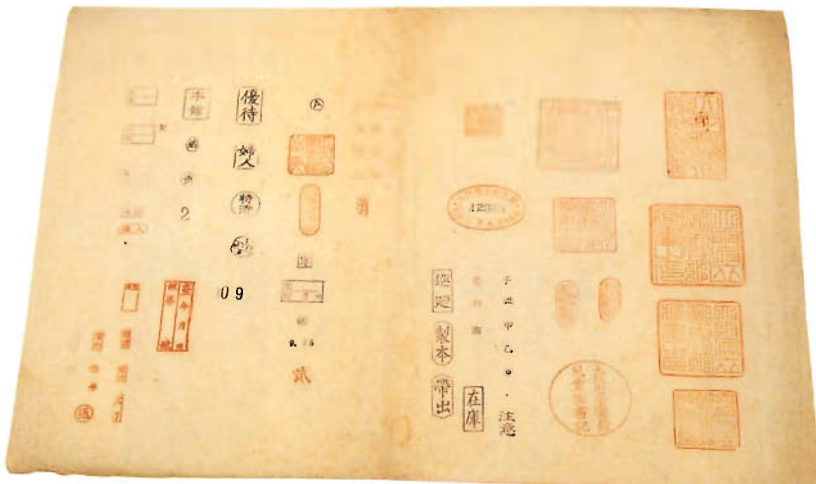
普通閲覧券



特別閲覧10回、30回券綴



児童閲覧券



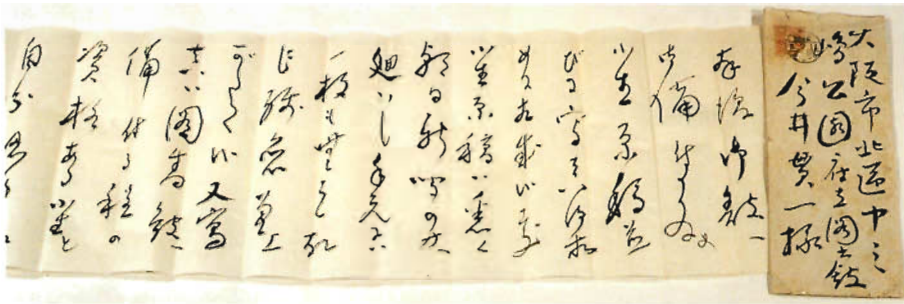


大正3年2月、当館創立10周年記念事業として  
開催の「本邦著述家肖像並ニ稿本展」に著者よ  
りとどいた原稿および書簡

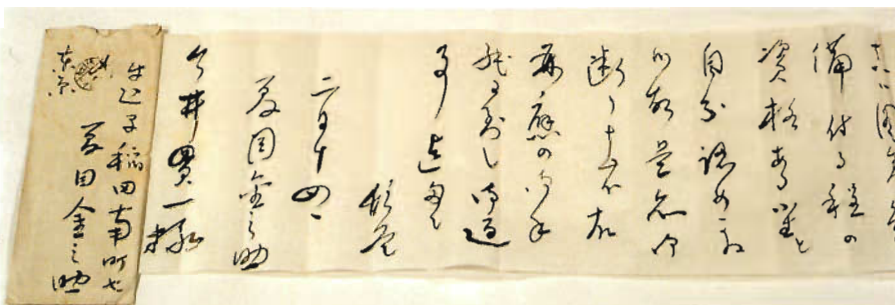
小山内薫「第二の女」原稿



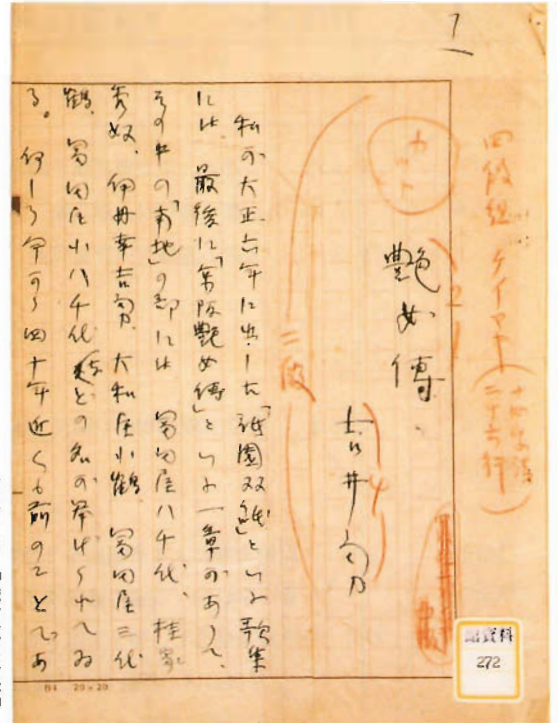
藏谷小波「竊 偽幽霊」原稿



今井貫一館長宛 夏目漱石書簡



(つづき)



吉井 勇「艶女傳」原稿  
 『あしかび』第1号に掲載

大阪府文芸懇話会機関誌  
 『あしかび』第1・2号



# 1 前史－書籍館の時代

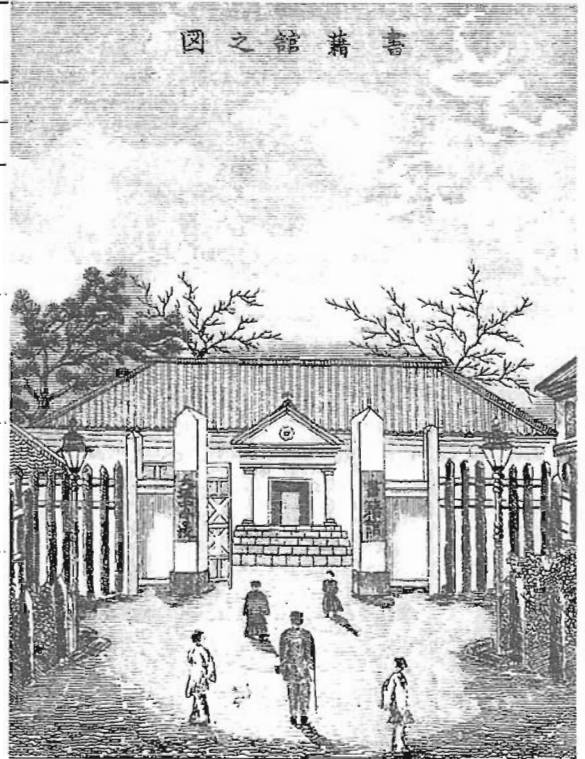
年	主なできごと
1872 (明治5)	<p>《 4月 文部省、東京書籍館を開設 》</p> <p>《 5月 京都の書肆村上勘兵衛ら集書会を経営、共同文庫を公開 》</p> <p>《 8月 大阪の書肆河内屋喜兵衛ら集書会を設立、図書縦覧を始める 》</p>
1875 (明治8)	<p>《 10月 府立大阪博物場の開設（本町橋詰町）、場内書籍縦覧所あり 》</p>
1876 (明治9)	<p>3月 府税支弁による書籍館を2館開設。第1大区13番小学校内（北浜5丁目1番地）および第2大区5番小学校内（安堂寺橋通1丁目10番地）</p> <p>11月 2館を併合し、第2大区6番小学校内（安堂寺橋通3丁目）に移転</p> <p>〔 係員は区の戸長および雇員1名、歳費120円 開設時の蔵書800余部5,030冊、閲覧者1ヵ月平均30人 〕</p>



明治9年3月の大阪市街図（改正大阪区分細見図）

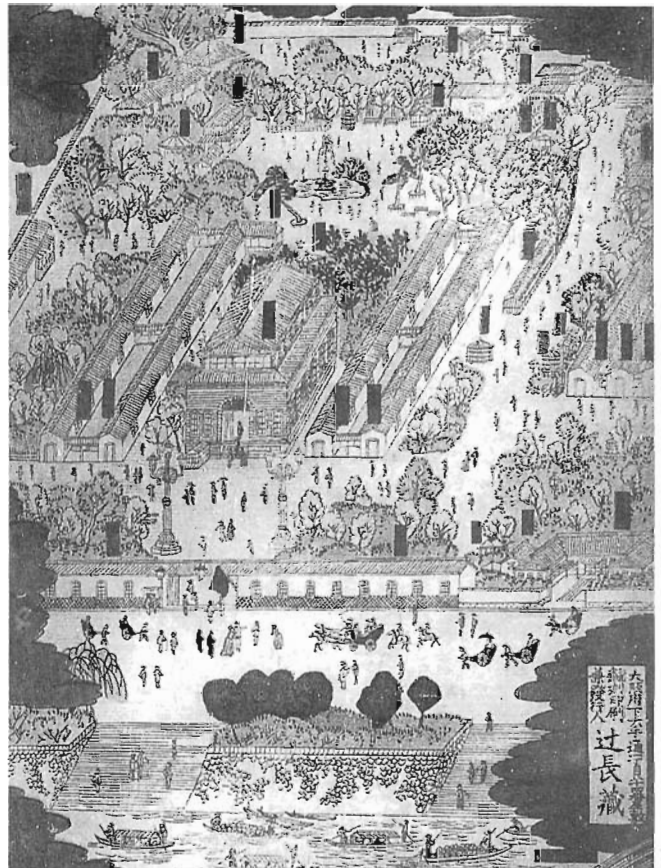
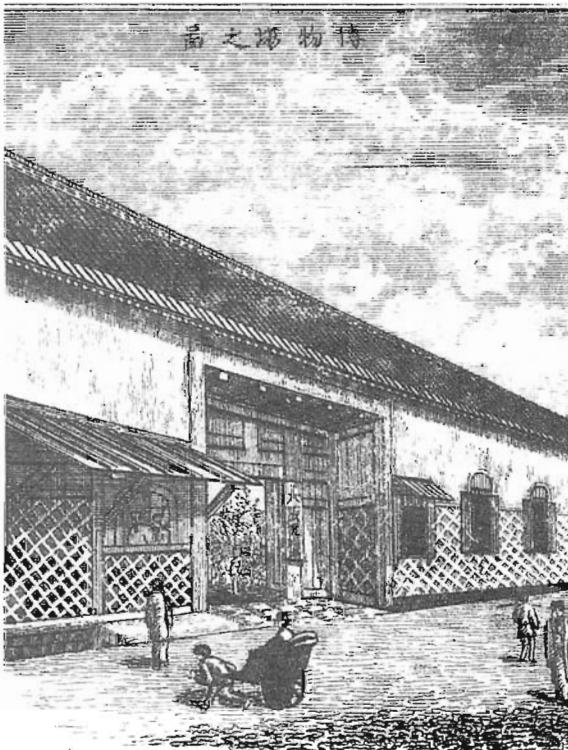


年	主なできごと
1878 (明治11)	5月 書籍館の規模を拡大し常安町18番地に 新築移転
1879 (明治12)	〔この頃、歳費 353円余 蔵書 2,645部、閲覧者1ヵ月平均 250人〕
1884 (明治17)	〔この頃、歳費 249円余 蔵書 4,969部、閲覧者1ヵ月平均 1,097人〕
1888 (明治21)	2月 前年の府下大洪水などによる府財政難 のため、大阪書籍館廃館 5月 蔵書の大部分は、府立大阪博物場内書 籍縦覧所が継承。一部は師範学校と中 学校に分配 〔書籍館の最終蔵書は、図書 20,355冊 その他 545点〕



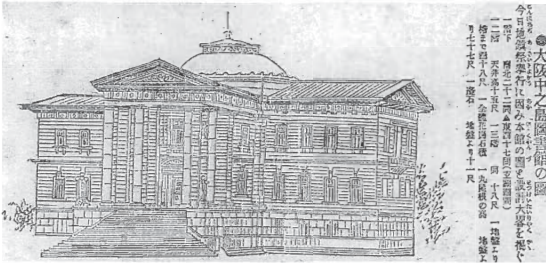
大阪書籍館 (『大阪名所独案内』)

府立大阪博物場 [右] 全景 (『東区史1』より)  
[下] 正面入口 (『大阪名所独案内』)



## ② 草創期

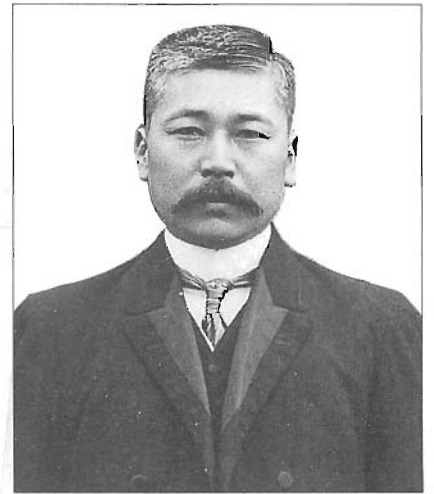
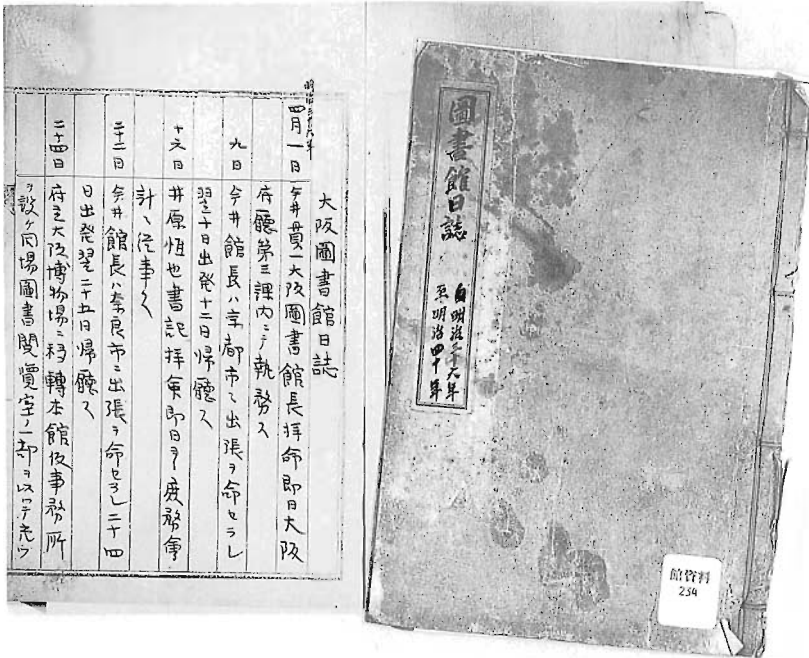
年	主なできごと	建 物
1894 (明治27)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2月 大阪市参事会の図書館設置議案</li> <li>■ 3月 大阪府議会で図書館新設の議案提出（建設費12,000円を2名差で否決）</li> </ul>	
1899 (明治32)	<ul style="list-style-type: none"> <li>《 11月 「図書館令」制定 ）</li> <li>■ 12月 大阪府知事・菊池侃二、「大阪府教育施設計画書」を発表 年度計画に図書館設立が加えられ、34年度開館を予定</li> </ul>	
1900 (明治33)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2月 臨時大阪府会市部会に大阪図書館の建築費約5万円の予算案が提出される</li> <li>■ 2月 第15代住友吉左衛門氏から大阪府に対し、建築費予算15万円の図書館を建造し、並びに10ヵ年度割図書購入基金5万円の寄付の申出 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3月 中之島公園内の敷地 1,000坪を大阪市より無償かつ永久供用に決定</li> </ul> </li> <li>■ 4月 大阪府が受諾。前議案を撤回して図書購入準備金3ヵ年度割15,000円の内5,000円の追加予算案を提出、可決される <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 7月 前項の敷地を寄付者に提供</li> <li>■ 9月 住友本店臨時土木建築課の直営として建築に着工（設計・監督 野口孫市 33才。日高 胖 25才）</li> <li>■ 11月 地鎮祭挙行</li> </ul> </li> </ul>	
1903 (明治36)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3月 図書館設置の件、文部大臣の認可を得る</li> <li>■ 4月 「大阪図書館」発足。府庁内の仮事務所で開館準備を開始 今井貫一、初代館長に就任（当時愛知県立第3中学校長 34才）</li> <li>■ 4月 仮事務所を府立博物館内に移転</li> <li>■ 5月 本館職務規程を定める</li> <li>■ 6月 再び仮事務所を北区常安町8番屋敷に移転</li> <li>■ 7月 本館商議員を囑託する（住友吉左衛門、鈴木馬左也、幸田成友、鶴原定吉、平賀義美、森本清蔵の6氏） 第1回商議員会を開く <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 12月 正面の主館約240坪の建築ほぼ竣工 最終建築費は約20.4万円にのぼる</li> </ul> </li> <li>■ 12月 建築のほぼ竣工した新図書館に移転し、収蔵図書を書庫に排列 書目を整備して閲覧に備える</li> </ul>	

主なサービスその他の動き	蔵 書														
<ul style="list-style-type: none"> <li>《 永江為政が東区船越町に私立大阪図書館を設立 ）</li> <li>《 北区堂島浜通に大阪医学会図書館が設立公開される ）</li> <li>《 木崎愛吉が『旅徼梅』（明治32年7月刊）のなかで「形式を具へざる図書館」と題し、大阪の図書館事情への憂慮と提言を著す ）</li> </ul>															
<p>「大阪朝日新聞」 明治33年11月27日</p> 															
<ul style="list-style-type: none"> <li>《 11月 内藤湖南が住友氏の図書館寄付に寄せて『図書館に就て』を朝日新聞に掲載。新図書館に求める所見を述べる（筑摩書房刊『内藤湖南全集 第3巻』収録） ）</li> <li>《 3月 第5回内国勲業博覧会が大阪で開催される（於：天王寺公園） ） <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3月 府立大阪博物館図書室より、旧大阪書籍館蔵書1,122部7,399冊移管 大阪医学会図書館より1,588冊の寄贈 大阪府より141部1,446冊移管</li> </ul> </li> <li>■ 4月 23門分類法を制定 固定排架方式を採用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ この頃、新図書館を祝賀して個人寄贈相次ぐ 鹿田静七氏より、『正平版論語』 島文次郎氏より、慶長勅版『日本書紀』 金尾種次郎氏より、金尾文淵堂出版物など</li> <li>■ 住友本店より『Century 辞書』16冊寄贈</li> </ul>														
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ この頃の職員数</li> </ul> <table border="0"> <tr><td>館 長</td><td>1</td></tr> <tr><td>司 書 係 長</td><td>1</td></tr> <tr><td>庶務会計係</td><td>1</td></tr> <tr><td>司 書 係</td><td>3</td></tr> <tr><td>助 手</td><td>3</td></tr> </table> <p>他に、</p> <table border="0"> <tr><td>装 丁 係</td><td>2</td></tr> <tr><td>見 習 等</td><td>4</td></tr> </table>	館 長	1	司 書 係 長	1	庶務会計係	1	司 書 係	3	助 手	3	装 丁 係	2	見 習 等	4	
館 長	1														
司 書 係 長	1														
庶務会計係	1														
司 書 係	3														
助 手	3														
装 丁 係	2														
見 習 等	4														

## ② 草創期



白亜の姿を現わした大阪図書館



初代館長 今井貫一  
[明治3.10~昭和15.3]

当館「図書館日誌」の  
第1頁

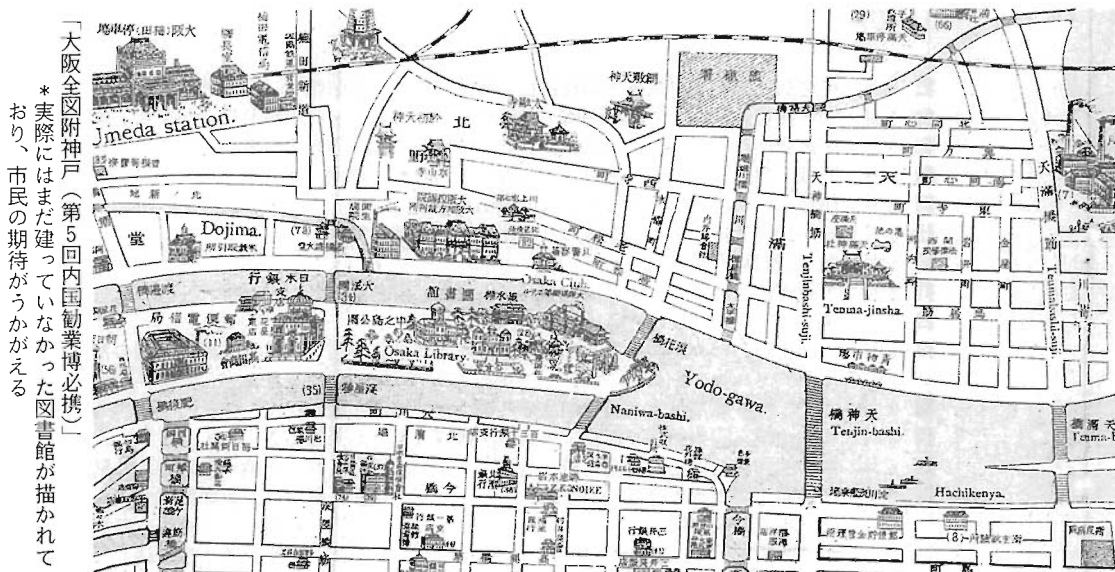




住友吉左衛門氏（第15代）  
 [元治元. 12~昭和元. 3]



設計者 野口孫市氏  
 [明治2. 4~大正4. 10]



正平叔論語集解四本  
 為平安森川清蔭齋  
 家今茲春清蔭歿予  
 購得之蓋其遺志也此  
 歲冬大阪圖書館告  
 竣乃舉贈以爲紀念  
 庶幾清蔭好古之名  
 因以不朽而予急上石  
 榮焉云  
 明治三十六年十二月  
 鹿田静七

正平叔論語集贈記（内藤湖南撰）

### 3 最初の10年

年	館長	主なできごと	建 物
1904 (明治37)	今井貞一 (初代)	<ul style="list-style-type: none"> <li>2月 「大阪図書館規則」定まる(大阪府令第14号)</li> <li>2月25日 開館式典挙行(この日を開館記念日と定める) <ul style="list-style-type: none"> <li>文部大臣代理として帝國図書館長・田中稲城氏</li> <li>大阪府知事・高崎親章氏ら臨席</li> <li>祝宴用の料理300人前(大阪ホテル製)</li> </ul> </li> <li>2月27日～28日 一般公開</li> <li>3月1日 「大阪図書館」開館 <ul style="list-style-type: none"> <li>初日の入館者数670人、うち図書を閲覧した人は特別55人・普通204人</li> <li>大阪朝日新聞の記事によると、第1の入館者は泉北郡百舌村の青木新太郎(高等師範生)で30回の特別券にて入館、とある</li> </ul> </li> <li>この年以後10年間、住友吉左衛門氏の毎年5,000円の寄付及び同額の大阪府支出を合せて図書購入基金として積み立てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2月 建物の落成(中央部の主館及び第1号書庫)</li> </ul>
1905 (明治38)		<ul style="list-style-type: none"> <li>この年、文部大臣久保田譲氏が本館視察のため来館</li> </ul>	
1906 (明治39)		<ul style="list-style-type: none"> <li>3月 中之島公園内で日露戦争凱旋祝賀会挙行为のため臨時閉館</li> <li>4月 図書展覧会に備えて内藤湖南・幸田成友・水落露石・鹿田静七氏らが来館。陳列図書の選択</li> <li>6月 図書管理法研究会(於:当館。官立学校及び文庫の図書主任者24名参加)</li> <li>6月 閲覧人懇談会を開催。職員と閲覧者有志が会食・意見交換</li> <li>8月 館長ら、京都上加茂神社の図書の虫干を参観</li> <li>9月30日～10月7日 第1回曝書のため休館(以後毎年実施)</li> </ul>	
1907 (明治40)		<ul style="list-style-type: none"> <li>1月 第2回閲覧人懇談会</li> <li>3月 大阪史談会創設のための協議会(於:当館。27名参加)</li> <li>5月 第2回図書管理法研究会(於:当館)</li> <li>6月 虫害予防のため、和漢書及び洋装書の函架に樟脳小包を貼付(1棚に3個の割合で、樟脳の消費高4斤半)</li> </ul>	
1908 (明治41)		<ul style="list-style-type: none"> <li>2月～3月 今井館長制定の新分類法の件につき司書部会議が続く</li> <li>3月 和歌山県立図書館より新設図書館の図書購入のため来館調査</li> <li>6月 第3回図書管理法研究会(於:当館)</li> <li>6月 山口県立図書館佐野館長が来館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月 出納所を階上から階下へ移動</li> <li>7月 住友家建館記念の大銅板額をホール正面に掲げる(重野安禪氏撰文、岡本隆徳氏書、東京美術学校鑄)</li> </ul>
1909 (明治42)		<ul style="list-style-type: none"> <li>4月 京都府立図書館開館</li> <li>7月 北区の大火、対岸の大阪控訴院など焼失するが当館は類焼を免れる</li> <li>9月 大阪人文会相談会を開く(於:当館)西村天因、渡辺霞亭ら19名会合</li> <li>11月 大阪人文会第1回例会(於:当館) <ul style="list-style-type: none"> <li>講演:木崎好尚「篠崎小竹の伝」、小山田松翠「大阪演劇の創始時代」及び関係図書の陳列、以後明治44年11月第7回例会まで続く</li> </ul> </li> </ul>	
1910 (明治43)		<ul style="list-style-type: none"> <li>8月 今井館長、文部省による図書館書籍標準目録編纂委員に就任</li> <li>9月 大阪人文会の主唱になる懐徳堂記念会発起人会を開き、会頭に住友吉左衛門氏を推薦</li> </ul>	
1911 (明治44)		<ul style="list-style-type: none"> <li>10月 中井家より懐徳堂遺書・水哉館遺書の寄託を受け、懐徳堂記念室を設ける(昭和14年寄託解除)</li> </ul>	
1912 (明治45)		<ul style="list-style-type: none"> <li>2月 神戸市立図書館開館</li> <li>3月 今井館長、図書館管理法研究のため文部省外国留学生として1年間欧米の図書館視察(大正2年3月まで)</li> </ul>	
1913 (大正2)		<ul style="list-style-type: none"> <li>9月 近畿図書館倶楽部第1回総会開催(於:京都帝国大学)</li> <li>10月 第8回全国図書館大会開催(於:大阪市立高等商業学校)</li> </ul>	



建館記念の大銅板額

主な刊行物	主なサービス	蔵 書	主な展示
		<ul style="list-style-type: none"> <li>朝日新聞社から物故社員遺業記念として1,000円寄贈(明版太平御覧等を購入)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月1日開館時蔵書 30,155冊 <ul style="list-style-type: none"> <li>和漢書 17,152冊</li> <li>洋書 3,003冊</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>閲覧席168席。閲覧券の購入が必要</li> <li>閲覧券の販売は委託</li> <li>当初1ヶ月は午後4時閉館</li> <li>4月1日夜間開館始まる(開館時間午前9時～午後9時)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>12月 社会主義伝道行商中の平民社の小田順造、山口義三両氏より平民文庫11冊寄贈</li> <li>12月 日本特許公報はじめて受入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈第1回図書展覧会〉</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>6月 『大阪図書館和漢図書分類目録 明治37年末現在』</li> <li>『大阪図書館洋書目録 明治37年末現在』</li> <li>〔当館最初の和漢書及び洋書の分類目録 23門分類法〕</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>豊田文三郎氏より先考文三郎氏蔵書 963部 2,565冊、岡本敬太郎氏より先考撫山翁蔵書 342部 1,461冊、北山男二郎氏より同家旧蔵書 35部 204冊などの寄贈</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>9月 『大阪図書館年報』創刊(以後、昭和20年第40年報まで続刊)</li> <li>10月 『Annual Report of the Osaka Library (英文年報)』創刊(昭和16年No.37まで続刊)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2月 開館記念日は入館無料・午後5時閉館とし閲覧室での図書陳列サービスを行なう(以後例年実施)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>〈第2回図書展覧会〉</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>住友家より同家旧蔵書 456部 2,656冊寄贈(鹿田静七氏が評価鑑定にあたる)</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月 館外図書貸出を実施(帯出特許規定の改正)</li> <li>4月 23門分類法を27門分類法に改訂 図書を新分類へ改める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮武外骨氏より滑稽新聞合巻5冊、絵葉書世界1冊寄贈</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>4月 『大阪府立図書館和漢図書目録 明治41年3月末現在』</li> <li>〔27門分類法による最初の目録 昭和16年まで31冊続刊〕</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>岡田吉五郎・倉沢七両氏より 330部 998冊、今川一氏より草双紙 916冊などの寄贈</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月 従来の辞書体件名カード目録を廃止 新訂の分類目録に組替</li> <li>8月 児童の読書振興のため夏期児童巡回文庫を始める</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>〈稀観図書陳列 第1回〉(以後、大正2年の第8回まで続く)</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>6月 大阪市内各区の小学校および府下西成郡へ図書を貸出(貸出文庫、巡回文庫のはじめ)</li> <li>10月 児童閲覧室新設、各室配置変更により閲覧席285席に増える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>普通180人 婦人15人 特別34人 児童56人</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>9月 閲覧券の販売を館の直営に移す</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>田部芳氏より先考吾園翁蔵書 316部 1,988冊、八田兵次郎氏より詞曲伝奇類 17部 319冊寄贈</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>田結荘金治氏より千里翁遺書 13部 55冊寄託</li> <li>大阪日報社社主吉弘茂義氏より金5,000円寄贈(和洋図書254部3,495冊を購入)</li> </ul>	

大阪図書刊行部 刊行 目録

1	...	...	...	...	...
2	...	...	...	...	...
3	...	...	...	...	...
4	...	...	...	...	...
5	...	...	...	...	...
6	...	...	...	...	...
7	...	...	...	...	...
8	...	...	...	...	...
9	...	...	...	...	...
10	...	...	...	...	...
11	...	...	...	...	...
12	...	...	...	...	...
13	...	...	...	...	...
14	...	...	...	...	...
15	...	...	...	...	...
16	...	...	...	...	...
17	...	...	...	...	...
18	...	...	...	...	...
19	...	...	...	...	...
20	...	...	...	...	...

「大阪図書館第1回図書展覧会列品目録 明治37年5月」 1枚 40 × 55 cm

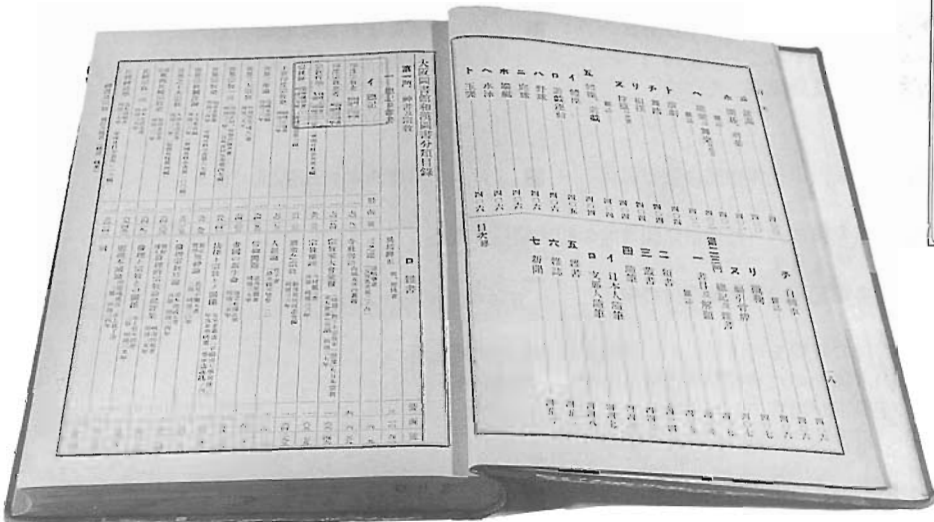


開館当時の閲覧室風景(明治37年)

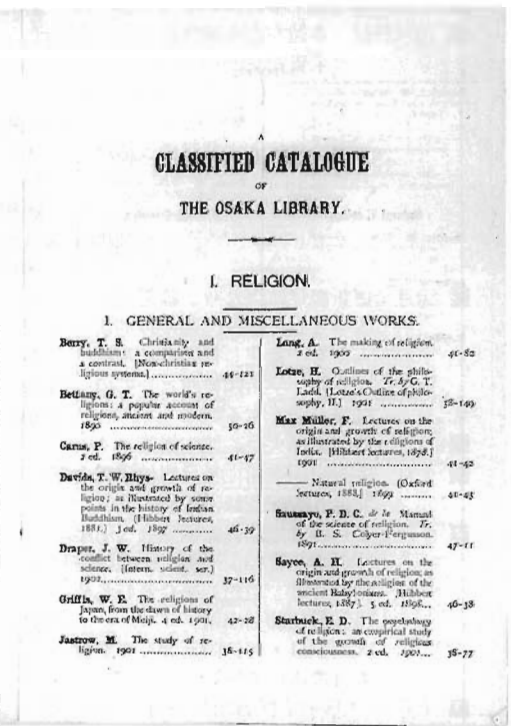


# ③ 最初の10年 — 最初の目録

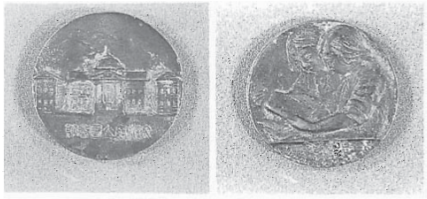
「大阪図書館和漢図書分類目録 明治37年末現在」 454, 115p 26cm

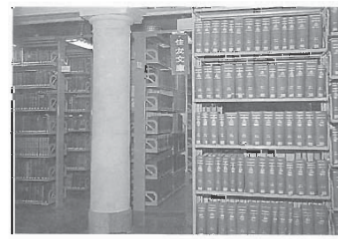


「大阪図書館洋書目録 明治37年末現在」 125, 18p 26cm



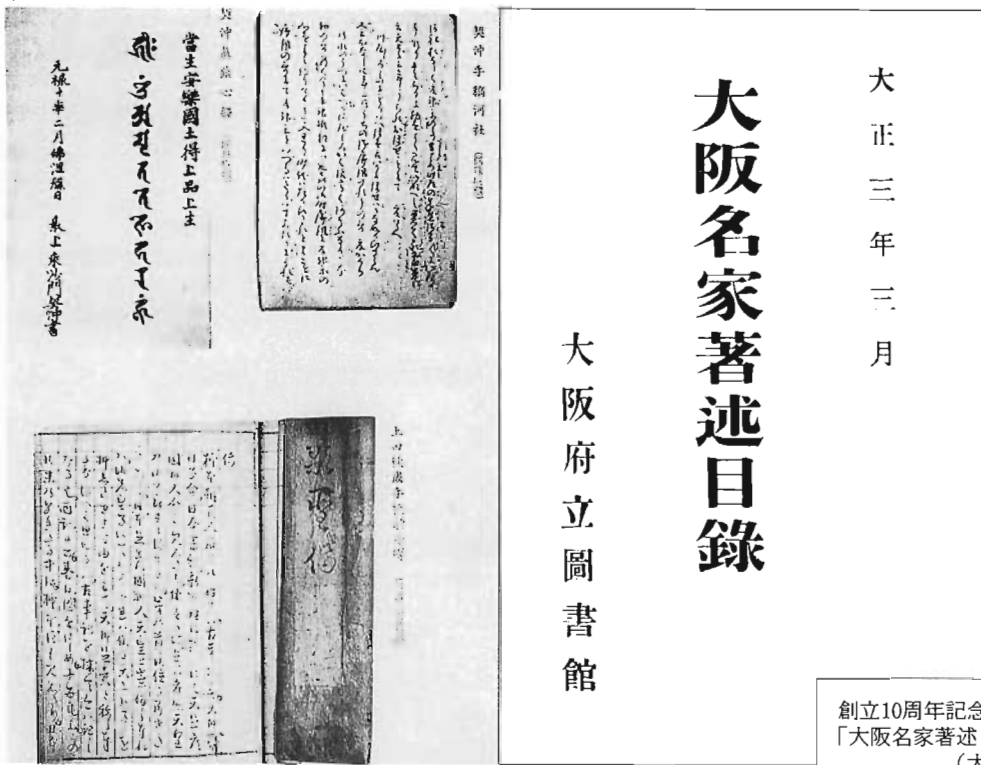
# 4 大正期 - 発展・拡充の時代

年	館長	主なできごと	建 物
1914 (大正3)		<ul style="list-style-type: none"> <li>2月 第10回開館記念日。大槻如電氏、西村天因氏ら来賓として来館記念講演、展示等の催し</li> <li>10月 懷徳堂記念祭(於:当館)狩野文学博士の講演</li> </ul>	
1915 (大正4)		<ul style="list-style-type: none"> <li>府県図書館協議会で山口図書館新訂の十進分類の第2分類までを標準分類とすることを決議</li> <li>今井館長「通俗図書館設置計画案」を作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月 府費により書庫増築着工(敷地120坪を大阪市から無償借受)</li> </ul>
1916 (大正5)		<ul style="list-style-type: none"> <li>2月 今井館長、市立大阪市民博物館設置委員に着任</li> <li>5月 今井館長、開館準備に入った堺市立図書館の初代館長に着任(兼務、大正8年3月まで)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月 2号書庫の増築落成</li> </ul>
1917 (大正6)		<ul style="list-style-type: none"> <li>12月 住友家から、本館左右両翼増築寄付の申出</li> </ul>	
1918 (大正7)		<ul style="list-style-type: none"> <li>1月 府会で前記寄付の收受を可決するが、物価高騰のため時期を待つ</li> <li>8月14日 大阪市内米騒動のため夜間外出禁止令発布。臨時休館</li> <li>11月 伏見宮博恭王殿下が視察のため来館</li> </ul>	
1919 (大正8)		<ul style="list-style-type: none"> <li>この年、今井館長、日本図書館協会副会長に就任</li> </ul>	
1920 (大正9)		<ul style="list-style-type: none"> <li>天王寺区に大原社会問題研究所付属図書館設立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>12月 左右両翼の増築工事に着手(住友本店営繕課施工、設計監督:日高祥)</li> </ul>
1921 (大正10)		<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪市が清水谷、阿波座、西野田、御蔵跡の4通俗図書館を設立</li> </ul>	
1922 (大正11)		<ul style="list-style-type: none"> <li>左右両翼増築工事に伴い7月1日~10月21日休館</li> <li>10月21日 本館左右両翼増築落成式を挙行 来賓約380~390名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10月 増築落成。住友家の寄付により増築記念の銅板を掲げる</li> </ul>
		<p>* 増築に伴う主な設備改造点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ホールの装飾を充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>増築寄贈記を記した銅版額(永山近彰文、杉山令吉書)</li> <li>左右壁面には等身大銅製神像 <ul style="list-style-type: none"> <li>右:野神像 左:文神像(北村西望作)</li> </ul> </li> <li>欄間:八聖殿になぞらえ八哲の名を刻す(井上哲次郎撰名)</li> </ul> </li> <li>②3階に記念室を新設 <ul style="list-style-type: none"> <li>住友吉左衛門(15世)の浮彫像版(朝倉文男作)</li> <li>壁の洋画(浅井忠作「京都・奈良・大阪」)</li> </ul> </li> <li>③児童閲覧部を廃止して経済商業及び理工学芸部の専門閲覧室を特設</li> <li>④陳列室</li> <li>⑤正面玄関前の道路を整備</li> </ul>	
1923 (大正12)		<ul style="list-style-type: none"> <li>2月 大阪府図書館従業員懇談研究会を開催(於:当館)来会者16名</li> <li>6月 第14回近畿図書館協議会(前年に「近畿図書館倶楽部」から改称)開催(於:当館)来会者47名及び当館職員20名出席 大阪朝日・毎日両新聞社を参観、丸善書店にて解散</li> <li>7月 「大阪府立図書館商議員会規程」制定</li> </ul>	 <p>増築記念章牌 大正11年10月</p>

主な刊行物	主なサービス	蔵 書	主な展示
<ul style="list-style-type: none"> <li>3月 創立10周年記念事業として『大阪名家著述目録』刊行</li> <li>3月 『大阪府立図書館一覽 大正3年3月』</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月 延滞料徴収を含む「図書帯出特許規程」実施(大阪府令第31・第32号)</li> <li>この頃既に「空席待ちの行列」の新聞記事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大正3年度 蔵書 109,186冊</li> <li>入館者 1日平均 506.7人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>創立十周年本邦著述家肖像並二稿本展</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>3月 住友吉左衛門氏より朝鮮本 1,501冊寄贈</li> <li>6月 住友家の寄金により佐藤六石氏蒐集の韓本雑書 5,080冊受入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>皇室関係大阪府郷土資料展(於:府立大阪博物館美術館)</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>藤田豊八氏蒐集の清代詩文集 375部を購入</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>2月 『大阪府立図書館本目録』</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>旧懷徳堂遺書および遺物展</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>7月 伊藤晋氏より伊藤家蔵書 2,163部 6,636冊寄託(昭和14年6月寄託解除)</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>『大阪府立図書館蔵 清朝人詩文集目録』</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪名家稿本展</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>10月 『大阪府立図書館洋書目録 大正8年3月末現在』</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画参考資料展</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>1月 児童図書閲覧部を廃止</li> <li>4月 利用料金を改訂</li> <li>7月 十進分類による書架分類表「和漢書排列分類表」作成</li> <li>7~10月 左右両翼増築に伴う休館期間に14.6万冊の全蔵書を函架排列から分類別排列に改める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月 円珠庵より契冲遺書 59部 112冊寄託</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>10月 『増築記念大阪府立図書館紀要』</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>* 大正11年4月の料金改訂 [明治37.2][大正11.4]</li> <li>(普通) 1回券 2銭 → 3銭</li> <li>10回券 12銭 → 20銭</li> <li>(特別) 1回券 5銭 → 10銭</li> <li>10回券 30銭 → 70銭</li> <li>(普通)(特別)とも30回券を廃止</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>1月 特許局より外国特許公報の寄贈はじまる</li> <li>8月 住友家より主として理工学関係の洋書 21,563冊寄贈(住友文庫の誕生)</li> </ul>	
		 <p>住友文庫</p>	

④ 大 正 期

「大阪名家著述目録」、そして本館両翼増築成る



創立10周年記念事業として刊行された「大阪名家著述目録」260p 57枚, 23cm (大正3年3月)

左右両翼増築の落成した大阪府立図書館 (大正11年10月)







## 5 大正から昭和へ

年	館長	主なできごと	建	物
1924 (大正13)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 5月 江木文部大臣、視察のため来館</li> <li>《 11月 図書館の普及利用及び読書奨励のため大阪図書館連盟が組織され、11月10日～16日、第1回大阪図書館週間を挙行、良書目録(青年児童及び婦人の読物)を配布</li> <li>《 12月 大阪図書館協会の設立、今井館長が理事長に就任</li> </ul>		
1925 (大正14)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2月 大阪図書館協会、発会式を挙行(於:当館)</li> <li>■ 5月 第1回総会(以後、総会に併せて展示を行なうのが恒例となる)</li> </ul>		
1926 (昭和元)		<ul style="list-style-type: none"> <li>《 3月 住友吉左衛門(15世)氏、死去</li> <li>■ 11月 今井館長、日本図書館協会理事長に就任</li> <li>■ 11月 文部省指定図書館となる(文部省告示第371号)(全国で唯一の指定図書館)</li> </ul>		
1927 (昭和2)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 4月 大阪府立図書館巡回文庫規程制定</li> <li>■ 4月 府費による書庫増築工事に着工</li> <li>■ 6月 大阪図書館協会第3回総会(於:当館)</li> <li>■ 10月 3号書庫増築落成</li> </ul> <p>講演:高木 利太(「日本地誌資料に就て」) [1～3号書庫で計約40万冊の収蔵力]</p> <p>南木芳太郎(「浪速風俗資料に就て」)</p>		
1928 (昭和3)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 5月 創立25周年記念式典挙行(於:当館)</li> <li>また、今井館長在職25年を記念して講演会(於:大阪ビルディング)</li> <li>《 5月 近畿図書館協議会(於:大阪中央公会堂)</li> <li>《 9月 大阪図書館協会第4回総会(於:懐徳堂)</li> </ul>		
1929 (昭和4)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 10月 大阪図書館協会第5回総会(於:当館)高野版陳列会</li> </ul>		
1930 (昭和5)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 11月 大阪図書館協会第6回総会(於:当館)</li> <li>講演:寿岳文章(「英国における書誌学の現況に就て」)</li> </ul>		
1931 (昭和6)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 5月 田中文字大臣来館</li> <li>■ 11月 大阪図書館協会第7回総会(於:当館)</li> <li>講演:松好貞夫(「明治初年の大阪商工業とその文献」)</li> </ul>		
1932 (昭和7)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 12月 大阪図書館協会第8回総会(於:当館)</li> <li>講演:長田富作(「正平版論語に就て」)</li> <li>間宮不二雄(「アメリカ図書館状況」幻燈により説明)</li> </ul>		
1933 (昭和8)	9月 長田富作(第2代)	<ul style="list-style-type: none"> <li>《 8月 文部省、図書館令を改訂し、中央図書館制度を実施</li> <li>■ 9月 今井館長、勇退し大阪市立美術館長に就任</li> <li>■ 11月 大阪図書館協会第9回総会(於:当館)</li> <li>講演:高梨光司(「明治維新文献目録作製に就て」)</li> <li>川瀬一馬(「高木氏蒐集の古活字版に就て」)</li> </ul> <p>■ 事務室を2階陳列室へ移転し、陳列ケースを元事務室及び廊下へ配置する</p>		

主な刊行物	主なサービス	蔵書	主な展示
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ この頃「連日満員」の記事(大13.3.10大阪朝日新聞)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 7月 山口吉郎兵衛氏より絵図類10部10冊寄託</li> </ul>	<p>大正13年度 蔵書 186,055冊 入館者1日平均 1,250人</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 10月 閲覧席30席増加</li> <li>■ この頃小学校附設簡易図書館を設ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 7月 草間繁蔵氏より草間直方翁遺書 5部 150冊寄託</li> <li>■ 9月 増本文吉氏より通法寺記 5部 6冊寄託</li> </ul>	<p>《有竹斎珍藏展》</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 7月 『大阪府立図書館巡回文庫要覧』</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 4月 巡回文庫要員として司書1名増員</li> <li>■ 8月 本格的な巡回文庫開始、31町村を巡回[1,706冊～約34箇の文庫を組立てる]</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 5月 『大阪府立図書館貴重図書目録』</li> <li>■ 5月 『大阪府立図書館要覧 昭和3年3月現在』</li> <li>■ 8月 『大阪府立図書館巡回文庫図書目録 第1冊 昭和2年度』(以後、第14冊 昭和15年度まで続刊)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 心斎橋2丁目組合より菊屋 町文書 335部 516冊、木挽 町文書 143部 264冊寄託</li> </ul>	<p>《宮内省図書寮図書展》</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 6月 『論語善本書影』</li> </ul>			<p>《論語展》 《大阪商工文献展》</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 11月 『正平版論語集解』</li> </ul>			<p>《鴻池家秘蔵扇面書画 特別展》 《高木利太氏遺書 古活字版展》</p>



第一回大阪図書館週間の宣伝しおり(大正13年11月)

## ⑤ 大正から昭和へ

— 創立25周年

### 3号書庫の増築落成



増築落成した3号車庫 [上] と  
内部の書架 [右] 昭和2年10月



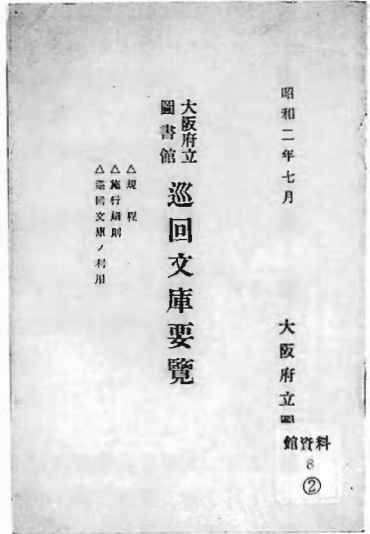
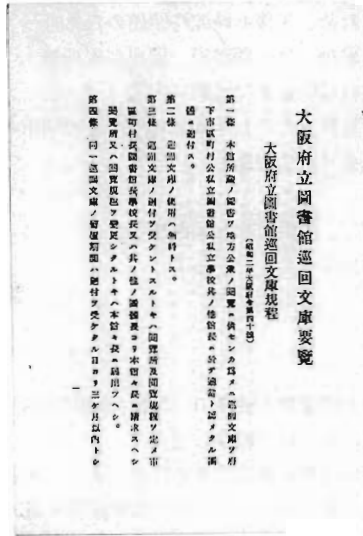
「大阪府立図書館貴重図書目録」

65p 図版20枚 22cm

(昭和3年5月)



本格的な巡回文庫へ



「大阪府立図書館巡回文庫要覽」昭和2年7月  
12p 19cm

10 10 12 5 2 | 1 6 3 3 1 8 1 4 4 3 2 6 2 1 3 4 3

良書百選 大阪府立図書館  
昭和九年十一月

宗教・哲學・教育  
孔子  
四天王の美術  
神道の本  
神皇正統記  
武士道精神  
武土道教本  
武土道教の講話  
子

文學・語學  
漢詩を讀む  
手紙と真心  
現代日本の小説と眞實  
國語の中心問題  
國語の文學史的的研究  
修辭學研究  
新體國語研究  
文學概論  
文學概論  
文學概論  
文學概論

發行所 大阪府立図書館

良書百選 大阪府立図書館推薦  
昭和八年四月  
昭和九年十月


宗教・哲學・教育  
一校忠臣傳文藝研究  
福澤諭吉傳傳研究  
大日本帝國憲法研究  
大日本帝國憲法研究  
科學入門  
武士道の史的的研究  
神皇正統記研究  
論語私讀

文學・語學  
歌と隨筆  
現代交遊記  
古代文藝の研究  
神皇正統記  
日本書紀序史  
たんじゆん  
花  
文藝の世界  
明治文學と藝術  
明治文學と藝術

發行所 大阪府立図書館

「大阪府立図書館推薦良書百選」  
(昭和9年・10年)

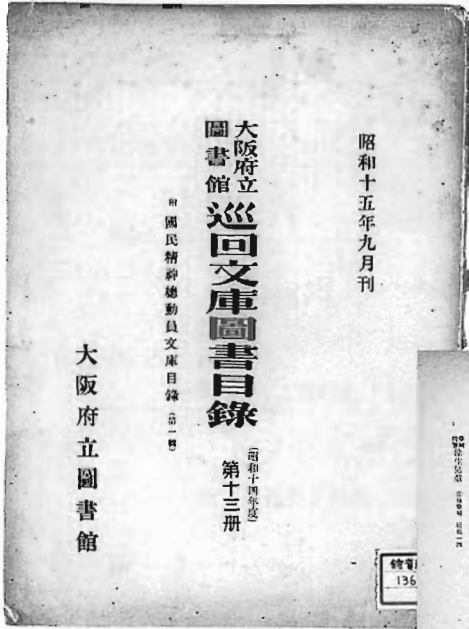
## 6 戦時下の図書館

年	館長	主なできごと	建 物
1934 (昭和9)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2月 開館記念日、例年通り無料・午後5時閉館 この年より、特別の催しをせず</li> <li>■ 7月 この頃より防空演習のため、午後6時臨時閉館の日あり</li> <li>■ 9月 台風により中央ドーム破損、窓・扉破損、屋根銅板飛散 (10月 第25回近畿図書館協議会は明春まで延期に決定)</li> </ul>	
1935 (昭和10)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2月 開館記念日、例年通り無料、ただし平常通り午後9時閉館となる</li> <li>■ 5月 第25回近畿図書館協議会(於:当館)</li> </ul>	
1936 (昭和11)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 4月 中央図書館の認可申請し、大阪府中央図書館となる (昭8改正図書館令第10条)</li> </ul>	
1937 (昭和12)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2月 大原社会問題研究所の土地建物と蔵書の一部が大阪府に譲渡される(大阪府社会事業会館となる) (7月7日 蘆溝橋事件の勃発により日中戦争に突入)</li> <li>■ この年、文部省および府の国民精神総動員文庫施設費により文部省指定図書を買って購入</li> <li>■ 10月 国民精神総動員週間(本館玄関ドームに於て戊申詔書奉読式)</li> </ul>	
1938 (昭和13)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 10月 国民精神総動員文庫を特設</li> <li>■ 9月26日～10月5日 第3次防空演習のため、臨時休館し、曝書</li> <li>■ 11月 図書館週間で「百選の百選及架」配布</li> </ul>	
1939 (昭和14)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 9月 府主催国民精神総動員文庫協議会を開催し、同文庫実施方策案を採択</li> </ul>	
1940 (昭和15)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 11月 紀元2600年式典挙行</li> <li>■ 12月 長田館長、ラジオ放送で「発明と図書館」と題して講演</li> </ul>	
1941 (昭和16)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1月 長田館長、町会文庫の構想を述べる(大阪毎日新聞)</li> <li>■ この頃「図書館ニ於ケル購入図書ノ配給ニ就キテ」の調査をまとめる (12月8日 真珠湾攻撃により太平洋戦争に突入、戦局が拡大)</li> </ul>		
1942 (昭和17)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ この頃「市町村図書館ニ関スル調査」をまとめる</li> <li>■ 10月 近畿図書館協議会第31回総会(於:当館)</li> </ul>	
1943 (昭和18)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ この頃から戦局激化し、利用者減少 職員も出征等で人員減、執務低下 [館務日誌はこの年9月30日の記入をもって停止する]</li> </ul>	
1944 (昭和19)			
1945 (昭和20)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ この頃、閲覧者1日平均214人に減少、創立以来の少数レコード</li> <li>■ 3月13日 大阪大空襲、街は焦土と化するが図書館は被災をまぬがれる</li> <li>■ 4月 重要資料・貴重図書の疎開はじまる (4月 泉南郡大上村、南河内郡磯長村叡福寺 8月 三島郡山田国民学校、豊能郡豊川村、奈良市般若寺などへの疎開)</li> <li>■ 6月1日 大原社会問題研究所の図書および敷地建物等、本館の管理に [大阪空襲で建物の大部分は被災焼失したが、書庫および図書は無事]</li> <li>■ 6月中 空襲があいつぎ本館もガラス破損などの被災</li> <li>■ 6月18日～7月15日 休館 (8月15日 「終戦の詔」により無条件降伏受諾が伝えられる)</li> </ul>	

主な刊行物	主なサービス	蔵 書	主な展示
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 11月 『大阪府立図書館推薦良書百選』</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1月 閲覧用書名・著者目録カードの作成はじまる</li> </ul>		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">           昭和9年度 蔵書 253,265冊 入館者1日平均 1,195人         </div>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 4月 『特許発明実用新案意匠及商標分類目録并件名索引』</li> <li>■ 『忠聖録』</li> <li>■ 『大阪府立図書館巡回文庫良書百選』</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 4月 中央図書館としてのサービス充実をはかる (特許部を新設、座席数308席を増設(計952席)、出納及係員13人増 閲覧用書名・著者目録の利用開始 館外帯出規定の改訂、料金も値下げ)</li> <li>■ 7月 村山龍平氏より浄瑠璃本131冊寄贈</li> </ul>		(内藤湖南博士蔵書本展)
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 10月 『新著特許抄報』 (以後、毎月2回、昭和16年まで続刊)</li> </ul>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 8月 『時局資料百選 1』 (以後、昭和14年、第8回まで刊行か)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ この年、入館人員1日平均1,332人になり創立以来の記録</li> </ul>		(孝経善本展)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1月 図書撮影規程を改訂(特許公報等に限り1件金30銭)</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 8月 『大阪府立図書館洋雑誌目録 昭和13年4月現在』 (昭和13年8月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 4月 館内に公衆電話を新設</li> </ul>		(郷土先儒遺著展) (代用品発明文献展) (欧米工業雑誌カタログ展)
			(国史・善本展)
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 『大阪府立図書館洋雑誌目録 昭和13年4月現在』 60p 27cm (昭和13年8月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1月 写真複写サービスはじまる。「写真閲覧」と称して、日本全国からの申込に応じた ライカ2台・図書撮影装置2台・引伸機2台等の設備 定員4名の流れ作業で1日平均800枚の作成可</li> </ul>		(新兵器工業 外国特許文献展)
			(南方渡海古文献展) (激国人所有日本特許文献展) (人魚洞文庫絵本展)
			(航空機外国特許文献展) (潜水艦外国発明文献展)
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3月 大阪書林倶楽部より大阪本屋仲間記録 194冊寄託</li> </ul>	



「大阪府立図書館巡回文庫図書目録 第13冊」昭和15年 9月  
50p 27cm



附「国民精神総動員文庫目録 第1輯」 18p 27cm

国民精神総動員文庫増加目録 第一輯 昭和十四年度

第一節 國華

第二節 日本精神

第三節 總記及雜書

第四節 國情・黨事

第五節 外情

第六節 大事業

第七節 教育

第八節 新聞

第九節 史・傳記・地誌

第一〇節 其他

目次

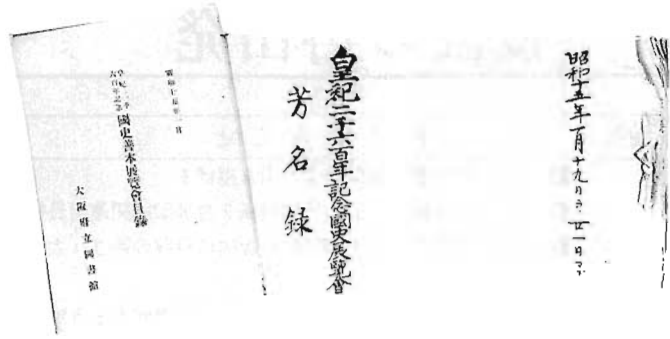
第一總記	〇	第一〇其他	〇
第二日本精神	〇	第一〇其他	〇
第三國情・黨事	〇	第一〇其他	〇
第四外情	〇	第一〇其他	〇
第五大事業	〇	第一〇其他	〇
第六教育	〇	第一〇其他	〇
第七新聞	〇	第一〇其他	〇
第八史・傳記・地誌	〇	第一〇其他	〇
第九其他	〇	第一〇其他	〇



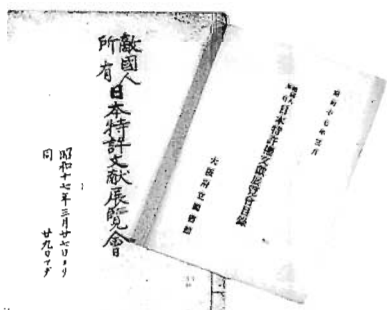
昭和18年 館務日誌  
(最後の日付：9月30日)



⑥ 戦時下の図書館



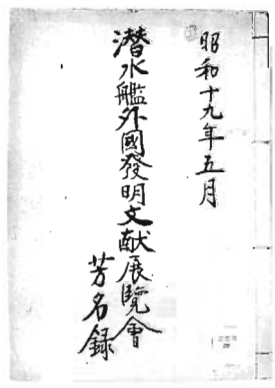
戦時下の展覧目録（昭和15～19年）




南方渡海古文獻展覧會目録


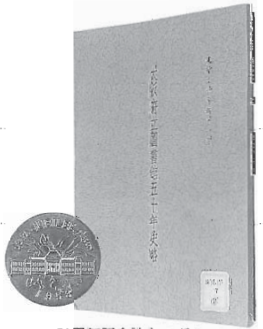
昭和十七年十月

大阪府立図書館



## 7 戦後の再出発

年	館長	主なできごと	建 物
1946 (昭和21)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3月 貴重書等疎開先より引き揚げる</li> <li>■ 3月 造兵廠より活版印刷機械2台等印刷関連用具搬入</li> <li>■ 5月 当館あて第1回宣伝出版物の没収の通達(大阪府教育民政部長名)</li> </ul>	
1947 (昭和22)	5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 9月 旧大原社会問題研究所を府立図書館天王寺別館と呼称 開館準備開始</li> <li>■ 10月 天王寺別館、児童図書館として活動開始</li> </ul>	
1948 (昭和23)	猪俣 英夫 (第3代)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3月 大阪府立図書館閲覧料等条例(府令第5号)、大阪府立図書館規則(府規則第9号)公布</li> <li>■ 11月 読書週間に府下5ヵ所に移動図書館車を巡回させ映画・講演会を開催(戦後はじめての対外活動)</li> <li>■ 12月 連合軍総司令部(GHQ)大阪軍政部から映写機・幻灯機の寄贈を受ける</li> </ul>	
1949 (昭和24)	10月		
1950 (昭和25)	中村祐吉 (第4代)	<ul style="list-style-type: none"> <li>《 4月 図書館法制定 》</li> <li>■ 4月 旧大原社会問題研究所跡に天王寺分館竣工</li> <li>■ 4月 天王寺別館を天王寺分館と改称</li> <li>■ 11月 本館建造物の大修理を行う(約5ヵ月間)</li> <li>《 5月 大阪府文芸懇話会発足 》</li> <li>■ 6月 天王寺分館落成式</li> <li>■ 8月 天王寺分館開館</li> <li>■ 9月 中村祐吉館長、英国公共図書館法制定百年記念大会に出席、英国各地の図書館を視察</li> </ul>	
1951 (昭和26)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3月 大阪府立図書館条例(府条例第12号)公布</li> <li>■ 4月 閲覧料等条例廃止(無料公開始まる)</li> <li>■ 5月 大阪府立図書館規則(府教育委員会規則第4号)公布 日曜休館となる</li> <li>■ 10月 従来の貸出文庫、巡回文庫を拡充し自動車文庫を開設(積載図書1,800冊 9コース 45ヶ所)</li> </ul>	
1952 (昭和27)			
1953 (昭和28)		<ul style="list-style-type: none"> <li>《 1月 大阪公共図書館協会発足 》 (大阪図書館協会を改組)</li> <li>■ 6月 館内照明装置を改善し、46ヶ所に蛍光灯を設置</li> <li>■ 11月 創立50周年記念式典挙行</li> </ul>	 <p>茨木ブックステーション</p>

主な刊行物	主なサービス	蔵 書	主な展示
		昭和21年度 蔵書 356,728冊 入館者1日平均 571.6人	〈図書月次展第1回近世大阪 出版物半百人一選〉
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1月 CIE図書館を付設(無料)、これにともない閲覧者正面玄関より出入り</li> <li>■ 10月 家庭図書室開設</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 秋頃CIE図書館廃止、図書一切を当館に寄贈</li> <li>■ 12月 大阪府フィルムライブラリーを併設(昭和27年10月まで)</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 開架式閲覧を一部採用(約8,000冊)</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 座席指定制を採用(座席数 871)</li> </ul>	
			 <p>天王寺分館</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 4月 『あしかび』第1集 (~第3集 昭和28年 まで刊行)</li> <li>■ 10月 『大阪府立図書館和 漢書目録分類表』 改訂(27門)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 貴重図書、外国特許のマイ クロフィルム化に着手</li> <li>■ 2月 スイス特許明細書貸 付(特許庁より)</li> <li>■ 10月 児童室を開設(従来の家庭室を改変、昭和33年9月まで)</li> <li>■ 12月 自動車文庫第1号車を購入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 4月 ユネスコよりユネスコ資料寄託</li> <li>■ 12月 石崎勝蔵氏旧蔵和漢書 11,496冊購入</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2月 茨木市にブックステーション開設</li> <li>■ 4月 枚方市にブックステーション開設</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1月 古市町にブックステーション開設</li> <li>■ 4月 商工資料室開設</li> <li>■ 4月 新制中学生の特別閲覧室を児童室に付加</li> <li>■ 4月 近松文庫を創設</li> <li>■ 10月 和泉佐野市にブックステーション開設</li> </ul>		 <p>50周年記念誌とメダル</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 11月 『大阪府立図書館50年史略』</li> </ul>			〈創立50周年記念展〉

## ⑦ 戦後の再出発



入館を待つ閲覧者の行列（昭和25年ごろ）



書庫狭隘の実情

19.1 C.I.E.フィルム目録 大阪府視聴覚センター  
（注）O印は現在保管中、その他は目下在庫中、括弧内は廃棄済み

C.I.E.番号	題名	分類対象	巻数	備考
1	連合軍の戦況	連合軍の戦況	1巻	O
2	連合軍の戦況	連合軍の戦況	2巻	O
3	連合軍の戦況	連合軍の戦況	3巻	O
4	連合軍の戦況	連合軍の戦況	4巻	O
5	連合軍の戦況	連合軍の戦況	5巻	O
6	連合軍の戦況	連合軍の戦況	6巻	O
7	連合軍の戦況	連合軍の戦況	7巻	O
8	連合軍の戦況	連合軍の戦況	8巻	O
9	連合軍の戦況	連合軍の戦況	9巻	O
10	連合軍の戦況	連合軍の戦況	10巻	O
11	連合軍の戦況	連合軍の戦況	11巻	O
12	連合軍の戦況	連合軍の戦況	12巻	O
13	連合軍の戦況	連合軍の戦況	13巻	O
14	連合軍の戦況	連合軍の戦況	14巻	O
15	連合軍の戦況	連合軍の戦況	15巻	O
16	連合軍の戦況	連合軍の戦況	16巻	O
17	連合軍の戦況	連合軍の戦況	17巻	O
18	連合軍の戦況	連合軍の戦況	18巻	O
19	連合軍の戦況	連合軍の戦況	19巻	O

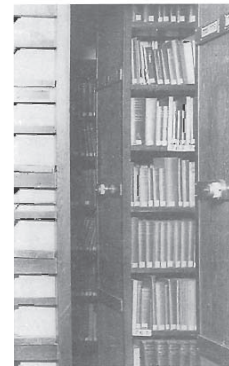
連合軍総司令部提供C. I. E. フィルム目録（昭和25年）

CIE = Civil Information and Education Section  
占領軍の民間情報教育局。この内に図書館係があり、日本の図書館の育成指導にあたった

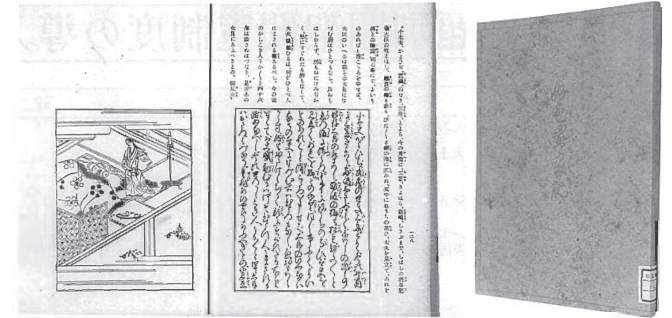
五 各種目録		近畿七館 増加 和漢書総合目録 第一冊	
五 各種目録	五 各種目録	近畿七館	近畿七館
五 各種目録	五 各種目録	増加	増加
五 各種目録	五 各種目録	和漢書総合目録	和漢書総合目録
五 各種目録	五 各種目録	第一冊	第一冊
五 各種目録	五 各種目録	（昭和二十一年四月開始二十二年三月増加）	（昭和二十一年四月開始二十二年三月増加）
五 各種目録	五 各種目録	昭和二十六年三月	昭和二十六年三月
五 各種目録	五 各種目録	大阪府立図書館	大阪府立図書館

「近畿七館増加和漢書総合目録」  
243p 26cm（昭和26年）

大阪市立、大阪府立、京都府立、神戸市立、滋賀県立、奈良県立、和歌山県立の各図書館の昭和21年度増加和漢図書を大阪府立図書館和漢書目録分類表により分類収録したもの



（昭和26年）



あしかび第3集「好色盛衰記」の翻刻影印本 229p 22cm（昭和28年）



自動車文庫巡回風景 西能勢にて（昭和28年ごろ）



創立50周年記念式および展示会（昭和28年）



## 8 主題別開架閲覧制度の導入

年	館長	主なできごと	建	物
1954 (昭和29)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2月 大阪府立図書館協議会発足</li> <li>■ 10月 天王寺分館夜間開館開始</li> </ul>		
1955 (昭和30)		《 5月 第8回全国図書館大会を大阪で開催 》		
1956 (昭和31)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 4月 英国詩人エンライト氏来館</li> <li>■ 5月 商工資料室新館竣工</li> </ul>		
1957 (昭和32)		<ul style="list-style-type: none"> <li>《 1月 関西文献センター協議会発足 》</li> <li>《 2月 大阪府自動車文庫友の会創立 》</li> <li>■ 6月 中村祐吉館長日本図書館協会理事長に就任(昭和36年5月まで)</li> <li>■ 9月 木寺清一司書課長米国図書館視察のため渡米(翌2月まで)</li> <li>■ 11月 アジア図書館協会連盟会議閉会式開催(於:当館)</li> <li>■ 12月 全国公共図書館研究会を天王寺分館で開催</li> </ul>		 <p>アジア図書館協会連盟会議</p>
1958 (昭和33)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3月 業務研究会発足(昭和38年頃まで継続)</li> <li>■ 3月 木寺清一司書課長、帰国後主題分化の閲覧方策を示した「本館改新案」を発表</li> <li>■ 3月 商工資料課が新設され、資料係と閲覧係の2係を設置</li> <li>■ 9月 中村祐吉館長第24回国際図書館会議に出席、欧米視察</li> <li>■ 12月 インドの図書館学者ランガナン氏来館</li> </ul>		
1959 (昭和34)		<ul style="list-style-type: none"> <li>《 3月 大阪府文芸懇話会主催文芸講演会開催(於:毎日ホール) 今日出海・円地文子・中野好夫・今東光氏講演 》</li> <li>■ 5月 イリノイ大学助教授アリス・ローラ氏来館</li> <li>■ 6月 英国の桂冠詩人エドモンド・プランデン氏来館</li> <li>■ 10月 林政雄副館長アメリカ図書館調査団員として渡米(2ヶ月)</li> </ul>		
1960 (昭和35)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3ヶ月計画で主題別開架閲覧制の実施の計画を始める</li> <li>■ 5月 増築改装工事費として住友系15社より1,000万円の特許を受ける</li> <li>■ 4月 スタンフォード大学図書館長A.L.A国際事務局長デーナ氏来館</li> <li>■ 12月 事務棟を増築し、最上階に貴重書庫を設置</li> <li>■ 10月 天王寺分館10周年記念講演会(エドモンド・プランデン氏)</li> </ul>		
1961 (昭和36)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 4月 国立国会図書館から関西地区科学技術資料館に指定</li> <li>■ 7月 米国の図書館学者ギットラー氏来館</li> <li>■ 11月 大学の図書館学実習生の受入を始める</li> <li>■ 3月 本館改造のため、南館閲覧室閉鎖</li> <li>■ 8月 第2次工事のため、北館閲覧室閉鎖</li> </ul>		
1962 (昭和37)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2月 英国文化振興会トムリン氏来館</li> <li>■ 4月 アメリカ原子力アタツシエのザルトマン氏、国立国会図書館天土春樹氏来館</li> <li>■ 4月 大阪府文芸懇話会講演 久保田万太郎氏</li> <li>■ 10月 中部地区読書指導研究会(16府県)(於:当館)</li> <li>■ 1月 増築・改装工事竣工</li> <li>■ 2月 わが国最初の主題別開架閲覧制度実施(相談室、人文科学室、自然科学室、新聞雑誌室、学習参考室開室)</li> </ul>		
1963 (昭和38)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2月 創立60周年記念式典挙行</li> <li>■ 10月 アメリカ国会図書館長マンフォード氏来館</li> <li>■ 10月 小林俊夫司書部長4ヵ月間アメリカ国務省主催「アメリカにおける各国グループ専門図書館員計画」に参加</li> </ul>		

主な刊行物	主なサービス	蔵書	主な展示
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 6月 『大阪府立和漢図書分類表』改訂版(十進分類)</li> <li>■ 6月 『近松浄瑠璃本書目』(近松学会報告第1輯)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2月 自動車文庫事務室天王寺分館に移転</li> <li>■ 4月 P Bレポート公開</li> <li>■ 6月 書架分類(10門)と書誌分類(27門)を統一、十進分類に</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 10月 自動車文庫『図書あんない』創刊(昭和35年12月まで刊行後「わだち」と改題し天王寺分館で刊行)</li> <li>■ 10月 『住友文庫古書分類目録』(洋書)(大阪府立図書館シリーズNo.1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 5月 商工資料室一般公開</li> </ul>	<p>昭和32年度 蔵書 404,252冊 入館者1日平均 1,719人</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 10月 館報『難波津』創刊(現在に至るまで刊行)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 9月 移動図書館車2号車増設</li> <li>■ 12月 参考室を開設(昭和36年まで)</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3月 『関西文献センターニュース』創刊(現在に至るまで夕陽丘図書館で刊行)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 7月 転写式複写機(トーコーブ)を設置</li> </ul>		<p>大阪府立図書館要覧(昭和37年～現在刊行中)</p>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 9月 野入あい氏より蔵書 499冊寄贈</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 9月 移動図書館車3号車増設</li> <li>■ 11月 A E Cレポート受贈式(於:当館)</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 8月 主題別開架閲覧制度の実施に先立ち法経室(現社会科学室)、地歴室、大阪室(現郷土資料室)を開室</li> <li>■ 12月 市河三喜氏より旧蔵洋書 1,044冊寄贈</li> <li>■ 9月 移動図書館車4号車増設</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 『大阪府立図書館要覧』(「大阪府立中之島図書館要覧」と改題し現在に至るまで毎年刊行)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ マイクロフィルム撮影機他一式を設置</li> <li>■ 2月 わが国最初の主題別開架閲覧制度実施(相談室、人文科学室、自然科学室、新聞雑誌室、学習参考室開室)</li> <li>■ 8月 移動図書館車5号車増設</li> <li>■ 10月 電気工学室開室(昭和46年まで)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 8月 斎藤勇氏より旧蔵洋書 173冊寄贈</li> <li>■ 10月 松下幸之助氏の援助により電気工学関係図書を購入</li> </ul>	



大阪府立図書館要覧(昭和37年～現在刊行中)



地 歴 室 (昭和36年)



相 談 室 (昭和37年)



新聞雑誌室 (昭和37年)



学習参考室 (昭和37年)

⑧ 主題別開架



大 阪 室 (昭和36年)



法 経 室 (昭和36年)



電気工学室 (松下)

閲覧制度の導入



文庫 (昭和37年)



自然科学室 (昭和37年)



人文科学室 (昭和37年)



事務棟竣工 (昭和35年)



商工資料室竣工 (昭和31年)



自動車文庫「図書館あんない」  
(昭和31年~35年)



館報「なにわづ」  
(昭和33年~現在刊行中)



## 9 目録再整備の時代

年	館長	主なできごと	建 物
1964 (昭和39)		<ul style="list-style-type: none"> <li>〈 7月 全国公共図書館整理部門研究会を大阪で開催（於：日本生命中之島ビル）黒羽兵治郎氏講演 〉</li> <li>■ 10月 大阪公共図書館大会（昭和44年まで当館で毎年開催）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1号書庫改装工事（書庫の木製書架をスチール製に変え、図書の収蔵量増加をはかる）</li> </ul>
1965 (昭和40)			
1966 (昭和41)	4月 良本義雄 (第5代)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3月 栗原均巡回文庫課長、図書館事情視察のため渡米</li> <li>■ 5月 職員研修制度はじまる</li> <li>〈 7月 大阪府文芸懇話会総会（於：大阪国際ホテル）</li> <li>〈 10月 自動車文庫友の会10周年記念大会（於：サンケイホール）水上勉・山崎豊子氏講演 〉</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2号書庫改装工事</li> </ul>
1967 (昭和42)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 4月 総目録編成室発足（当館の蔵書総目録の作成及びカード目録の整備はじまる）</li> <li>■ 10月 近畿公共図書館移動図書館研究会（於：天王寺分館）</li> <li>■ 11月 関西文献センター協議会創立10周年記念式典（於：当館）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3号書庫改装工事</li> <li>■ 11月 歌人川田順が当館50周年に寄せた賛歌碑を前庭に建立</li> </ul>
1968 (昭和43)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 6月 第2回京阪神地区4館参考事務事例交換会（於：当館）</li> </ul>	
1969 (昭和44)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2月 近畿移動図書館研究会（於：天王寺分館）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3月 中庭に事務室・電気室を増築</li> </ul>
1970 (昭和45)	12月 松尾一夫 (第6代)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1月 貴田春男商工資料課長、英国文化振興会研修生として英国へ3ヵ月出張</li> <li>〈 10月 全国移動図書館研究会（於：府立青少年会館）</li> <li>〈 11月 第1回大阪府読書推進大会（於：中央公会堂）湯川秀樹氏講演（以後、昭和49年まで継続）</li> <li>■ 11月 大阪府立図書館調査に関する会議による「大阪府立図書館基本構想に関する報告書」まとまる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2月 蔵書の増加に対処するため講堂を書庫に改築</li> </ul>
1971 (昭和46)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2月 近畿移動図書館研究会（於：天王寺分館）</li> <li>■ 5月 近畿4館参考事務連絡会（於：当館）</li> </ul>	
1972 (昭和47)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1月 天王寺分館改装に伴い同館業務の一部（館外貸出業務等）を休止</li> <li>■ 3月 総目録編成室閉室</li> <li>■ 4月 天王寺分館、大阪市阿倍野区昭和町の臨時館で業務再開</li> <li>■ 4月 天王寺分館建物を撤去、新館建築工事着工</li> <li>〈 10月 大阪公共図書館大会（於：朝日生命ホール）中村幸彦氏講演 〉</li> </ul>	
1973 (昭和48)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2月 京阪神地区参考事務研究会（於：当館）</li> </ul>	

主な刊行物	主なサービス	蔵 書	主な展示
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 12月 『大阪府立図書館紀要』創刊（以後、毎年継続刊行）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電子式複写機によるコピーサービスを開始</li> <li>■ 書庫改装に伴い、この年から3年間蔵書の一部閲覧停止を行う</li> <li>■ 12月 天王寺分館、図書の館外貸出開始</li> </ul>	<p>昭和39年度（本館） 蔵書 454,846冊 入館者1日平均 1,957人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈日本の正月展〉</li> <li>〈近畿地方の名所図会展〉</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 『あなたの読書のために』第1集（以後、第7集まで毎年継続刊行）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 8月 天王寺分館、入館の年齢制限を廃止</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>〈覚峰阿闍梨関係資料展〉</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3月 『大阪府立図書館和漢図書分類表』改訂2版</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 4月 法経室を社会科学室に、自由閲覧室を自習室に名称変更</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>〈各国万国博覧会展〉</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 9月 朝日新聞社より和漢書19,000冊寄贈</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈百人一首関係資料展〉</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2月 『大阪府立図書館図書分類表』第2次改訂版</li> <li>■ 3月 『大阪府立図書館増加図書目録』昭和42年度版（以後毎年継続刊行）</li> <li>■ 3月 『奥田家文書』第1巻（昭和51年度まで刊行）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 4月 茨木市、枚方市のブックステーション廃止</li> <li>■ 5月 寝屋川市、能勢町のブックステーション開設</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>〈資料でみる芝居の世界展〉</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2月 『大阪府立図書館蔵書目録』洋書1～3巻</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 4月 OECD（経済協力開発機構）出版物寄託図書館に指定される</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈日本万国博覧会展〉</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3月 『週遊従之』</li> <li>■ 3月 『大阪府立図書館参考事務必携』</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1月 地歴室を人文科学室に合併、地歴室を指定閲覧室として使用</li> <li>■ 7月 泉佐野市、羽曳野市のブックステーションを廃止し、門真市、藤井寺市に開設</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>〈日本近代文学館名著複製資料展〉</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3月 『大阪府立図書館蔵書目録』全16巻完成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 8月 寝屋川市、能勢町のブックステーション廃止</li> <li>■ 10月 身体障害者に対する郵送貸出等開始</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3月 『紀要』第9号を「創立70周年記念特集号」として刊行</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>〈大阪の摺物展〉</li> </ul>

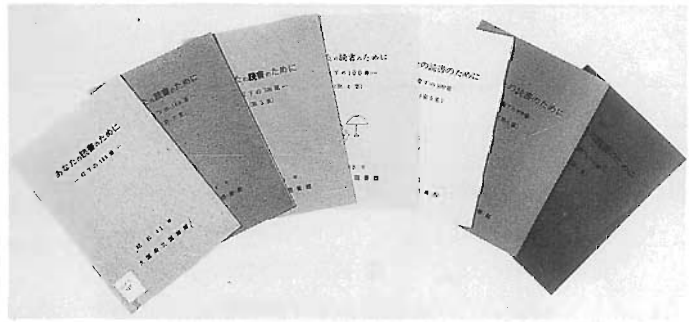




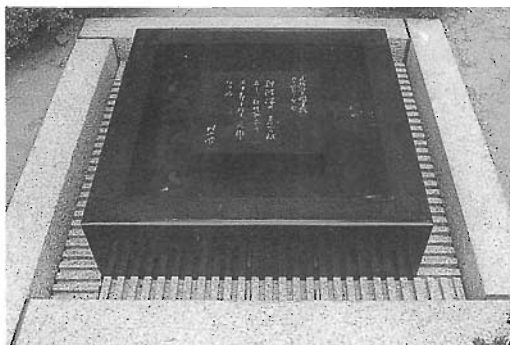
「紀要」創刊号  
(昭和39年)



第9号 創立70周年記念  
特集号 (昭和48年)



「あなたの読書のために」第1集(昭和41年)～第7集(昭和48年)  
各年出版の単行本の中から一般向教養書100冊を選んで紹介



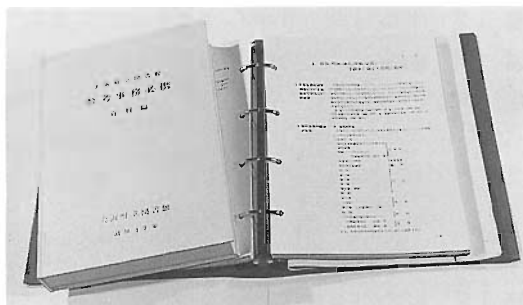
川田順が当館50周年に寄せた賛歌碑「難波津のまなかに植ゑし知慧の木は五十年を経て大樹となりぬ」  
(昭和42年)



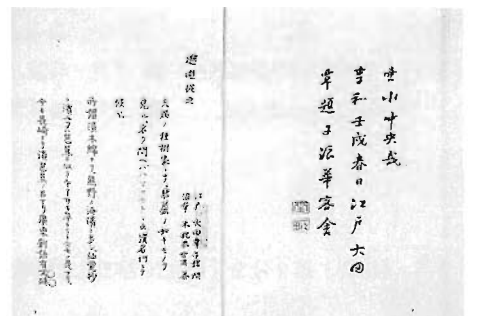
昭和42年当時の利用案内板



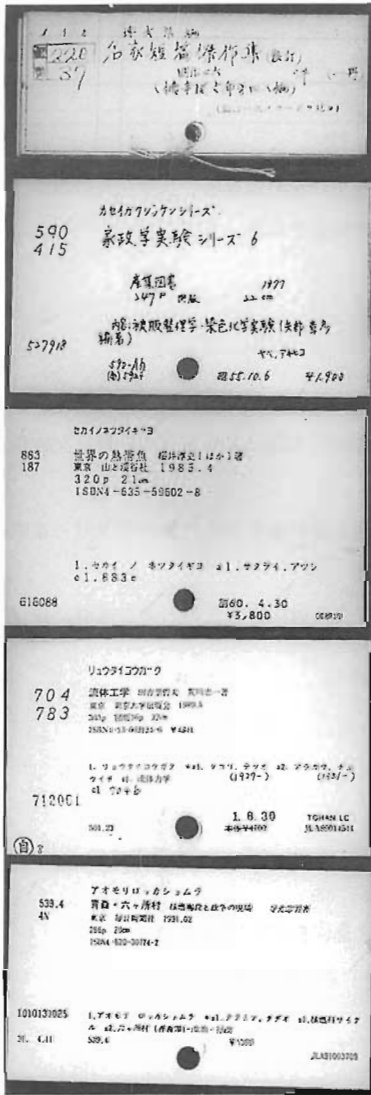
第1回大阪府読書推進大会(昭和45年)  
府下各地で活動している読書会の事例  
発表と講演会が行われた



「参考事務必携」刊行 参考事務のマニュアルとして、  
他館でも活用された(昭和46, 49年)



「遡遊従之」刊行  
近世大阪関係資料のうち貴  
重な資料を複製したもの



カード目録の変遷

最上のカードは開館当初（明治36年）の小型カード、2番目は手書きカード（昭和55年作成）、3番目は自館入力のカード（昭和60年作成）、4番目はTOHANカード（平成元年作成）、5番目はNDC分類のカード（平成3年作成）



目録整備5カ年計画で発行した「大阪府立図書館蔵書目録」和漢書1～16巻、洋書1～3巻、「天王寺分館蔵書目録」、「大原文庫和漢書分類目録」の全21冊（昭和42～47年）

⑨ 目録整備五カ年計画のころ

昭和42年度より5カ年計画で、当館の目録再整備が行われた。第一にいろんな意味で不備であったカード目録を標準サイズで全面更新し完全なものにすること、第二にカード目録作成時に、原稿カードを余分に刷り、それを分類順に編集して冊子体の蔵書目録を発行すること、この二点を図書館サービスを従来通り続けながら、5年という期限内に、予算7千万円を投じて行うものである。まさに図書館創立以来の大事業であるこの計画が決定した当初は、館内騒然としたという。

実際に作業が始まると、膨大な原稿量と次々に生じる複雑なケース、見込み違いなどによる苦勞、困難は尽きなかった。5年という期限に向け、職員と多くのアルバイトの方々が奮闘した結果、昭和47年3月に全計画が完了した。蔵書目録刊行を計画中の他の図書館からの訪問を受ける等、発行当時、全国的にも注目された。国内・国外の400館に配付されたこれらの目録は、今なお各地で活用されている。

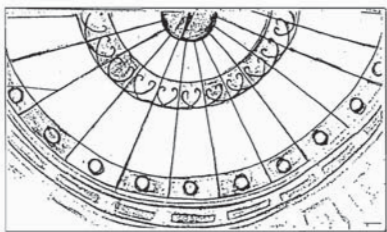


展示会目録（昭和42～43年）



展示会目録（昭和44～45年）

# 10 府立2館時代へ

年	館長	主なできごと	建 物
1974 (昭和49)	4月 玉田義美 (第7代)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月 天王寺分館跡地に新館竣工(4月大阪府立夕陽丘図書館として開館)</li> <li>3月 商工資料室を夕陽丘図書館へ移転</li> <li>4月 大阪府立中之島図書館と改称</li> <li>4月 司書部が整理課、閲覧課、郷土資料課の三課体制となる</li> <li>4月 整理課・大阪室が郷土資料課・郷土資料室となる</li> <li>10月 大阪府社会教育委員会による「生涯学習の観点からみた社会教育施設のあり方—市町村立図書館の役割とその振興方策について(建議)」まとまる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月 本館及び左右両翼棟の3棟が国の重要文化財に指定される</li> <li>8月 旧商工資料室を文化財資料展示室と書庫に改装</li> <li>3月 重要文化財指定記念の石碑を前庭に建立(於:中央公会堂) 谷沢永一氏講演</li> </ul>
1975 (昭和50)			
1976 (昭和51)			
1977 (昭和52)	4月 片岡重治郎 (第8代)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月 全国公共図書館奉仕部門研究会(於:中央公会堂)</li> <li>9月 昭和52年度全国図書館大会、大阪・京都で開催</li> </ul>	
1978 (昭和53)		<ul style="list-style-type: none"> <li>4月 大阪府史編集室(企画部所管)が教育委員会に移管され、中之島図書館所属となる</li> <li>11月 当館将来構想委員会による「大阪府立図書館将来構想(試案)」まとまる</li> </ul>	
1979 (昭和54)	5月 浅見勝也 (第9代)	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月 印刷室及び製本室を廃止</li> </ul>	
1980 (昭和55)		<ul style="list-style-type: none"> <li>9月 大英図書館ブラウン玉英女史来館</li> </ul>	
1981 (昭和56)		<ul style="list-style-type: none"> <li>7月 南京博物院副院長来館</li> <li>11月 英国天文学史専門家E. J. エイトン博士来館</li> </ul>	 <p>中央ホール・ドームのスタンドグラス(手描)</p>
1982 (昭和57)		<ul style="list-style-type: none"> <li>5月 府教委、図書館ネットワーク検討委員会発足</li> <li>10月 中国国家図書館訪日団第1回来館(以後、隔年毎に来館)</li> </ul>	
1983 (昭和58)	5月 廣瀬智生 (第10代)	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月 国賓エジプト・アラブ共和国大統領夫人来館</li> <li>11月 中国社会科学院古典文学研究者訪日考察団来館</li> <li>12月 ネパール、トリブヴァン大学中央図書館司書インディラ・グリー氏当館で1ヵ月研修</li> </ul>	

主な刊行物	主なサービス	蔵 書	主な展示
<ul style="list-style-type: none"> <li>3月 『紀要』第10号を「大阪の出版文化特集号」として刊行</li> </ul>		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">           昭和48年度 蔵書 608,716冊 入館者1日平均 2,173人         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本館発祥以来の歴史をたどる資料展</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月 中之島・夕陽丘両館の機能分担開始(中之島:人文科学、郷土資料等中心)</li> <li>夕陽丘:社会科学資料、児童書、特許資料、対面朗読、自動車文庫等中心)</li> <li>4月 電子式複写によるコピーサービス業者委託となる</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>3月 『大坂本屋仲間記録』第1巻(平成4年度まで継続刊行)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>大塩平八郎資料展</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>3月 『大阪府立中之島図書館蔵書目録規程』</li> <li>7月 『奥田家文書』全15巻完成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>12月 文化財資料展示室(文化財保護課所管)を開設</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>4月 貸出図書延滞料を廃止し、一定期間貸出停止制度に変更</li> <li>8月 竹中タツ氏より織田作之助旧蔵図書700点、その他書簡等809点寄贈</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>近世大阪の出版展</li> <li>本館所蔵西鶴本展</li> <li>織田作之助資料展</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>3月 『大阪府史』第1巻(以後、平成3年度まで継続刊行)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>浪花文人自筆本展</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>12月 『大阪府立中之島図書館増加図書書名累積索引』昭和42~53年度</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>2月 川田俊子氏より川田順旧蔵資料504点寄贈</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>川田順資料展</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>3月 『大阪府立中之島図書館図書分類表』改訂3版</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人のみた現代にっぽん展</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月 図書返却用ポストを職員通用口に設置</li> <li>12月 図書館連絡車試行はじまる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>復刻雑誌展</li> </ul>

# ⑩ 府立2館時代へ



商工資料室最後の日のスナップ（昭和49年3月14日）  
商工資料課は夕陽丘図書館へ特許資料課と改称されて移転



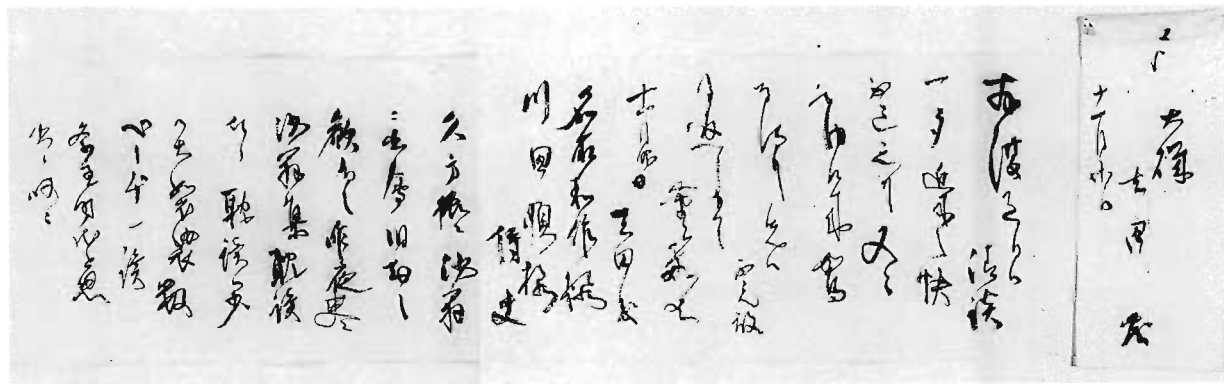
天王寺分館跡地に夕陽丘図書館が開館（昭和49年）



本館及び左右翼 重要文化財指定書（昭和49年）

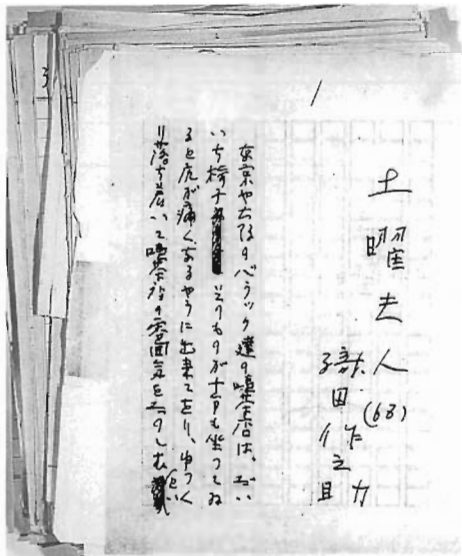


重要文化財指定記念碑建立（昭和51年）  
自然石の青石に顕彰文が刻まれている



川田順宛吉田茂の書簡（昭和56年寄贈）





織田作之助「土曜夫人」の草稿〔上〕と  
その初版（昭和52年寄贈）〔右〕



展示会目録（昭和51～54年）



展示会目録（昭和53～58年）



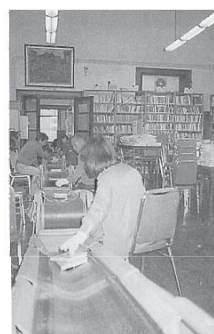
展示会目録（昭和55～57年）



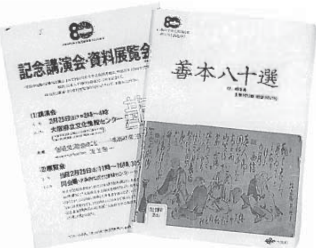
川田文庫公開記念 川田順資料展（昭和56年）

# 11 主題別閲覧制度の再編成

年	館長	主なできごと	建 物
1984 (昭和59)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2月 創立80周年記念講演会・展示会(於:文化情報センター) 足立巻一氏講演</li> <li>■ 5月 閲覧課業務改革(主題室の統廃合など)</li> <li>■ 8月 第50回 IFLA ナイロビ大会に上野武彦閲覧課長参加</li> <li>《 10月 第70回全国図書館大会、大阪で開催》</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 5月 文化財展示室を南館3階へ移転</li> </ul>
1985 (昭和60)	4月 延原富士男		
1986 (昭和61)	5月 吉岡陸彦(第11代)	<ul style="list-style-type: none"> <li>《 3月 府教委、図書館ネットワーク検討委員会の「図書館サービスのネットワークのあり方について 第4年次(最終)報告書」まとまる》</li> <li>■ 3月 恩賀敬子主査、図書館事情視察のため1ヵ月渡米</li> <li>■ 12月 第52回 IFLA 東京大会写真コンテストで田中武久技師の「中之島図書館」が金賞を受賞</li> </ul>	
1987 (昭和62)	5月 吉岡陸彦(第12代)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 4月 森中和子整理課長、カリフォルニア大学バークレー校図書館で1年間「三井文庫」整理</li> <li>■ 5月 中国上海市視察団来館</li> <li>■ 6月 新府立図書館建設基本計画策定委員会発足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 11月 建築研究協会による当館建物の現況調査完了「大阪府立中之島図書館建物の現況調査」まとまる</li> </ul>
1988 (昭和63)		<ul style="list-style-type: none"> <li>《 2月 近畿公共図書館協議会奉仕部門研究会(於:盲人情報文化センター) 石上玄一郎氏講演》</li> <li>■ 6月 岸下進一氏製作の当館模型(40分の1)の寄贈を受ける</li> <li>《 11月 「おおさか図書館フェスティバル」開催(於:松坂屋)》</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 8月 利用者入口の改修工事が完成</li> <li>■ 10月 書庫エレベーターの自動化</li> </ul>



主題室の大移動で本をベルトコンベアやリフトで運搬。書庫係、学習参考室、指定閲覧室を廃止。人文科学室を3階から2階へ移転。新聞雑誌室を小説新聞室に名称変更し、2階南端へ移転(昭和59年)



創立80周年記念誌「善本八十選」と講演会・展示会予告のちらし(昭和59年)

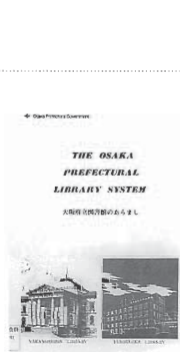


図書館連絡車(昭和59年)



当館職員のデザインによるスタンプ3種(昭和62年)

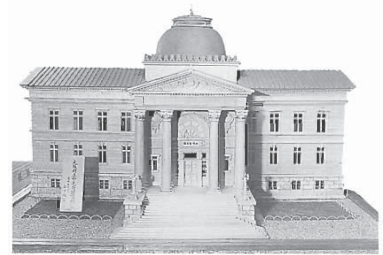
主な刊行物	主なサービス	蔵 書	主な展示
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2月 創立80周年記念誌『善本八十選』</li> <li>■ 2月 『紀要』第20号を「創立80周年記念特集号」として刊行</li> <li>■ 3月 『大阪近辺類縁機関案内』</li> <li>■ 3月 『大阪府立図書館蔵逐次刊行物等総合目録 和漢書の部』</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 5月 主題別閲覧室とサービス体制の再編成</li> <li>■ 8月 奥村奨学会より図書館連絡車として専用車が寄贈される</li> </ul>	<p>昭和58年度 蔵書 728,012冊 入館者1日平均 2,205人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>《善本八十選展》</li> <li>《韓国古印刷文化展》</li> <li>《紙の劣化展》</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1月 森田敦子氏より森田幸門旧蔵の漢方医学書 2,308冊寄贈</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>《中之島図書館所蔵絵画展》</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 7月 『なにわづ』100号を刊行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 4月 英文要覧『THE OSAKA PREFECTURAL LIBRARY SYSTEM』できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3月 川田アヤコ氏より川田順旧蔵資料864点寄贈</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>《親鸞関係書展》</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 5月 当館をデザインしたスタンプ3種できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3月 中島幸雄氏より図書費として100万円寄贈</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>《絵巻でみる明治初年の大阪》</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 7月 大阪銀行より「中国近・現代史マイクロフィルム資料」1,408巻等寄贈</li> </ul>	



英文要覧(昭和61年)



「おおさか図書館フェスティバル」のポスター(昭和63年)




岸下進一氏製作の当館模型(昭和63年)



「中国近・現代史マイクロフィルム資料」(昭和63年)

## 12 新館建設への始動

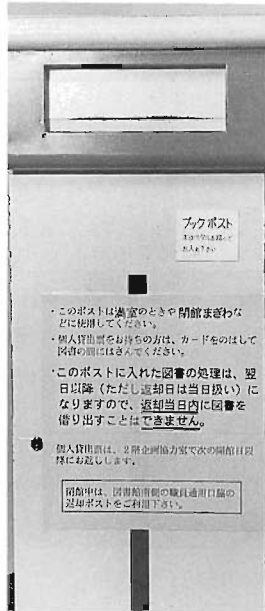
年	館長	主なできごと	建 物
1989 (平成元)	4月 山代義雄 (第13代)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月 中国上海市友好代表团来館</li> <li>2月 新府立図書館建設基本計画策定委員会による「新府立図書館建設基本計画(報告)」まとまる</li> <li>4月 書庫満杯のため一部蔵書の民間倉庫移管開始</li> <li>6月 新府立図書館企画委員会発足</li> <li>8月 第55回 IFLA/パリ大会に仲田憲弘司書部長参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>12月 事務棟エレベーターの自動化</li> </ul>
1990 (平成2)		<ul style="list-style-type: none"> <li>4月 新刊圖書の集中整理、図書館システムプロジェクトチーム(夕陽丘図書館内)で始まる</li> </ul>	
1991 (平成3)	5月6月 岸昌(元知事)名譽館長に就任 北川宗雄(第14代)	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月 大阪府史編集室閉室</li> <li>4月 新日鉄情報通信システム㈱による「大阪府新府立図書館システム基本設計報告」まとまる</li> <li>4月 大阪府立図書館電算化推進本部設置</li> <li>5月 「大阪府史」完成祝賀会開催(於:なにわ会館)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月 文化財資料展示室を廃止し書庫に改装</li> <li>6月 副館長室を名誉館長室に、館長室を館長室・副館長室に改修</li> <li>6月 各主題室入室者数自動カウント機設置</li> </ul>
1992 (平成4)		<ul style="list-style-type: none"> <li>4月 新府立図書館準備室開設(社会教育課内)</li> <li>9月 補正予算で新府立図書館建築工事費認められる</li> <li>12月 新府立図書館、東大阪市荒本地区に着工</li> </ul>	
1993 (平成5)	4月 足立悦雄 (第15代)	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月 府立中之島図書館将来構想検討委員会による「新中之島図書館の機能と施設について(報告)」まとまる</li> <li>4月 蔵書データの遷及入力業務開始</li> <li>6月 ミヤンマー文化省文化施設局長来館</li> <li>11月 消防設備の改修、遷及入力準備作業のため、4日～17日休館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月 旧目録分類係室を遷及入力業務室として使用開始</li> <li>8月 会議室を廃止し、遷及入力業務室として使用開始</li> </ul>
1994 (平成6)			

主な刊行物	主なサービス	蔵 書	主な展示
	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月 英文利用案内『A GUIDE TO THE OSAKA PREFECTURAL NAKANOSHIMA LIBRARY』できる</li> </ul>	<p>昭和63年度 蔵書 838,484冊 入館者1日平均 2,336人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈藤沢桓夫と周辺の人々〉</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>12月 藤沢典子氏より藤沢桓夫旧蔵図書 3,664冊、その他書簡等 653点寄贈</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月 新刊圖書の整理にNDC分類採用</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>〈懐徳堂の人々展〉</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>8月 三井直夫氏より三井駿一旧蔵の中国医学書等1,583冊寄贈</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>3月 『大阪府史 別巻』刊行、全8巻完成</li> </ul>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>3月 『大阪府立中之島・夕陽丘図書館増加図書書名累積索引1～5』昭和57～平成元年度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月 大阪天神橋ライオンズクラブより「大阪府立中之島図書館利用案内」板が寄贈され、表玄関北側に設置</li> <li>8月 府の週休2日制導入に伴い、土曜日の閉館時間が9時～5時になる。同時に貸出冊数を3冊から4冊に改定</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>3月 『大坂本屋仲間記録』全18巻完成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月 裏口のブックポスト大型化</li> <li>7月 満席時の通行証発行</li> <li>12月 中西宗吾氏より中西重孝、重保ら近世郷土の文人に関する図書 2,008冊、その他書簡等 2,160点寄贈</li> <li>11月 英文要覧 1993年版できる</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>2月 創立90周年記念誌『大阪府立中之島図書館九十年』</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2月 90周年記念のしおりを入館者に配布</li> </ul>		





利用者用入口改修（昭和63年）



初代ブックポスト  
（昭和58年）



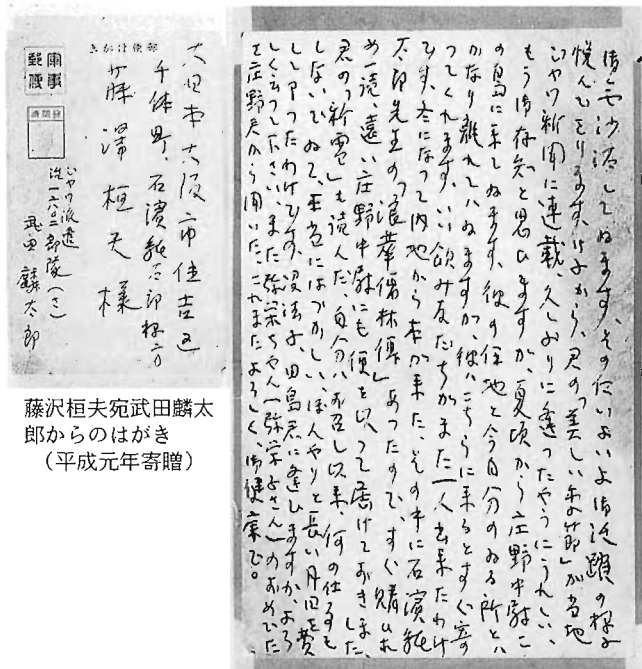
利用率が高まり大型化されたブックポスト（平成5年）



大阪天神橋ライオンズクラブより寄贈された利用案内（平成4年）



「大阪府史」全8巻完成（平成3年）



藤沢恒夫宛武田麟太郎からのはがき  
（平成元年寄贈）



藤沢恒夫の著書の一部（平成元年寄贈）





## 付録 1 当館刊行物総覧

- 明 38. 6 大阪図書館和漢図書分類目録 明治37年末現在  
6 大阪図書館洋書目録 明治37年末現在  
9 大阪図書館年報創刊(昭和20年 No.40まで続刊)  
10 Annual Report of The Osaka Library No.1 (昭和16年 No.30まで続刊)
40. 4 \*和漢図書分類目録 増加 自明38.1至明39.1  
4 大阪府立図書館洋書増加目録 自明38.1至明39.12
42. 4 大阪府立図書館和漢図書目録 明治41年3月末現在  
12 大阪府立図書館増加和漢図書目録(第1冊)明治41年度
44. 3 大阪府立図書館増加和漢図書目録(第2冊)明治42年度  
12 大阪府立図書館増加和漢図書目録(第3冊)明治43年度
45. 12 大阪府立図書館増加和漢図書目録(第4冊)明治44年度
- 大 2. 12 大阪府立図書館増加和漢図書目録(第5冊)明治45年度
3. 3 大阪名家著述目録  
3 大阪府立図書館一覧  
11 大阪府立図書館増加和漢図書目録(第6冊)大正2年度
4. 11 大阪府立図書館増加和漢図書目録(第7冊)大正3年度
5. 12 大阪府立図書館増加和漢図書目録(第8冊)大正4年度
6. 2 大阪府立図書館韓本目録 大正5年3月現在
7. 2 大阪府立図書館増加和漢図書目録(第9冊)大正5年度  
8 大阪府立図書館増加和漢図書目録(第10冊)大正6年度
8. 大阪府立図書館蔵清朝人詩文集目録  
10 大阪府立図書館増加和漢図書目録(第11冊)大正7年度
9. 10 大阪府立図書館洋書目録 大正8年3月末現在
10. 4 大阪府立図書館増加和漢図書目録(第12冊)大正8年度  
11 大阪府立図書館増加和漢図書目録(第13冊)大正9年度
11. 10 増築記念大阪府立図書館紀要
14. 12 大阪府立図書館増加和漢図書目録(第14冊)大正10~12年度
15. 8 大阪府立図書館増加和漢図書目録(第15冊)大正13年度  
12 大阪府立図書館増加和漢図書目録(第16冊)大正14年度
- 昭 2. 7 大阪府立図書館巡回文庫要覧  
12 大阪府立図書館増加和漢図書目録(第17冊)昭和元年度  
12 大阪府立図書館洋書増加目録(第1冊)自大8.4至大15.3

- 昭 3. 5 大阪府立図書館貴重図書目録  
5 大阪府立図書館要覧 昭和3年3月現在  
8 大阪府立図書館巡回文庫図書目録(第1冊)昭和2年度  
12 大阪府立図書館増加和漢図書目録(第18冊)昭和2年度
4. 4 年代便覧  
6 大阪府立図書館巡回文庫図書目録(第2冊)昭和3年度
5. 4 大阪府立図書館増加和漢図書目録(第19冊)自昭3.4至昭4.3  
6 大阪府立図書館巡回文庫図書目録(第3冊)昭和4年度  
9 大阪府立図書館増加和漢図書目録(第20冊)自昭4.4至昭5.3
6. 6 論語善本書影  
6 大阪府立図書館巡回文庫図書目録(第4冊)昭和5年度  
8 大阪府立図書館増加和漢図書目録(第21冊)自昭5.4至昭6.3
7. 6 大阪府立図書館巡回文庫図書目録(第5冊)昭和6年度  
10 大阪府立図書館増加和漢図書目録(第22冊)自昭6.4至昭7.3
8. 6 大阪府立図書館巡回文庫図書目録(第6冊)昭和7年度  
6 近畿善本図録  
11 正平版論語集解 全5冊 解説1  
11 大阪府立図書館増加和漢図書目録(第23冊)自昭7.4至昭8.3
9. 大阪府立図書館推薦良書百選 自昭8.4至昭9.10  
6 大阪府立図書館巡回文庫図書目録(第7冊)昭和8年度
10. 本館推薦良書百選 自昭9.11至昭10.10  
大阪府立図書館巡回文庫良書百選 自昭9.11至昭10.9
- 3 恭仁山莊善本書影  
3 大阪府立図書館増加和漢図書目録(第24冊)自昭8.4至昭9.3
- 4 特許発明実用新案意匠及商標 分類目録并件名索引  
4 忠聖録  
8 大阪府立図書館巡回文庫図書目録(第8冊)昭和9年度
- 10 大阪府立図書館増加和漢図書目録(第25冊)自昭9.4至昭10.3
- 12 真福寺善本集影  
11. 大阪府立図書館巡回文庫良書百選 自昭10.11至昭11.10
- 6 富岡文庫善本集影  
8 大阪府立図書館巡回文庫図書目録(第9冊)昭和10年度
- 10 新着特許抄報 第1号(昭和16年 100号まで続刊)  
12 大阪府立図書館増加和漢図書目録(第26冊)自昭10.4至昭11.3



- 昭 12. 6 孝経善本集影  
 8～12\*時局資料百選 1～5  
 9 大阪府立図書館巡回文庫図書目録（第10冊）昭和11年度
13. 1 国際特許発明 1巻1号  
 4 大阪府立図書館増加和漢図書目録（第27冊）昭和11年度  
 6～11\*時局資料百選 6～7  
 6 \*大阪府立図書館巡回文庫図書目録（第11冊）昭和12年度  
 8 大阪府立図書館洋雑誌目録 昭和13年4月現在  
 10 郷土先儒遺著聚英  
 11 \*時局資料百選の百選
14. 国際特許発明を英米独仏特許発明に改題  
 2 \*時局資料百選 8  
 3 大阪府立図書館増加和漢図書目録（第28冊）昭和12年度  
 9 \*大阪府立図書館巡回文庫図書目録（第12冊）昭和13年度
15. 4 大阪府立図書館増加和漢図書目録（第29冊）昭和13年度  
 10 大阪府立図書館巡回文庫図書目録（第13冊）昭和14年度  
 12 皇紀二千六百年記念国史善本集影
16. 1 発明と図書館  
 4 大阪府立図書館増加和漢図書目録（第30冊）昭和14年度  
 9 \*大阪府立図書館巡回文庫図書目録（第14冊）昭和15年度
17. 「英米独仏特許発明」を「発明と特許」に改題
18. 9 南方渡海古文献図録
19. 4 「新着特許抄報」と「発明と特許」を合併し「科学文献」に改題  
 （昭和20年3月に発行停止）
24. 6 朝鮮医学研究図書
25. 2～3 書友 第2巻第2号
26. 3 近畿七館増加和漢書綜合目録 自昭21. 4至昭22. 3  
 4 あしかび 第1集  
 10 大阪府立図書館和漢書目録分類表 改訂（27門分類）
27. 3 あしかび 第2集  
 7 大阪府立図書館要覧
28. 6 絵入好色盛衰記（あしかび 第3集）  
 11 大阪府立図書館五十年史略
29. 6 大阪府立図書館和漢図書分類表 改訂初版（十進分類）

- 昭 30. 6 近松浄瑠璃本書目（第一）（近松学会報告第1輯）
31. 6 大阪府立図書館新館
- 10 図書あんないNo.1 大阪府立図書館自動車文庫（昭和35年10月No.43まで続刊 昭和35年12月「わだち」と改題し天王寺分館で刊行）
32. The Osaka Prefectural Library（英文の案内）
- 10 住友文庫古書分類目録（洋書）（大阪府立図書館シリーズNo.1）
- 11 大阪府立図書館蔵貴重図書目録抄
33. 3 阿闍梨覚峰の伝
- 8 大阪府立図書館天王寺分館古書分類目録第1冊（大阪府立図書館シリーズNo.2）
- 10 館報「難波津」創刊（現在まで続刊）
- 10 大阪府立図書館商工資料室利用の手引き
34. 3 関西文献センターニュース創刊（現在まで夕陽丘図書館で続刊）
- 4 アメリカ化学特許目録 第1部 1958年1～4月（1969年版まで続刊）
- 5 収書月報 第1号（昭和36年3月26号まで続刊）
- 7 特許公報出願者名索引 第1号（昭和33年度）（昭和46年度まで続刊）
- 7 大阪府立図書館原子力関係資料目録 第1集
- 7 P Bレポート目録 化学篇 第1集（以後年刊）
35. 3 近松浄瑠璃本奥書集成（大阪府立図書館シリーズNo.3）
- 4 P Bレポート目録 電気・機械篇 第1集
36. 1 大阪府立図書館所蔵A E Cレポート番号索引(1)
- 2 大阪府立図書館原子力関係資料目録 第2集
- 3 大阪府立図書館天王寺分館古書分類目録 第2冊（A）（大阪府立図書館シリーズNo.4）
37. 大阪府立図書館要覧（昭和49年度より「大阪府立中之島図書館要覧」と改題し以後現在まで続刊）
- 大阪府立図書館庁舎増改築記念
- 1 大阪府立図書館蔵大阪地図目録（大阪府立図書館シリーズ No.5）
- 3 大阪府立図書館天王寺分館古書分類目録 第2冊(B)（大阪府立図書館シリーズNo.6）
- 3 大阪府立図書館原子力関係資料目録 第3集
38. 2 大阪府公共図書館郷土資料総合目録 昭和37年3月31日現在（大阪府立図書館シリーズNo.7）
- 2 大阪府立図書館蔵稀書解題目録 和漢書之部（大阪府立図書館シリーズNo.8）
- 3 大阪府立図書館蔵住友文庫分類目録（洋書）上（大阪府立図書館シリーズNo.9）
39. 3 大阪府立図書館蔵漢籍目録 叢書之部（大阪府立図書館シリーズNo.11）
- 3 大阪府立図書館原子力関係資料目録 第4集

- 昭 39. 3 大阪府立図書館所蔵地方史誌目録 昭和38年3月31日現在（大阪府立図書館シリーズ  
No.10）
- 3 大阪府立図書館蔵近世活字本目録（大阪府立図書館シリーズNo.12）
- 3 大阪府立図書館蔵住友文庫分類目録（洋書）下（大阪府立図書館シリーズNo.13）
- 12 大阪府立図書館紀要創刊（以後現在まで続刊）
40. 2 大阪府立図書館蔵逐次刊行物目録 和漢書の部 昭和38年12月現在（大阪府立図書館  
シリーズNo.14）
- 3 大阪府立図書館原子力関係資料目録 第5集
41. 3 大阪府立図書館蔵漢籍目録 四部之部（大阪府立図書館シリーズNo.15）
- 3 スイス特許分類表 1908～1958
- 3 大阪府立図書館原子力関係資料目録 第6集 AECリポート番号索引 1965年12月  
末現在
- 11 あなたの読書のために 一灯火の100冊－（昭和48年7集まで続刊）
42. 2 大阪府立図書館天王寺分館蔵大原文庫洋書分類目録 第2冊（大阪府立図書館シリー  
ズNo.17）
- 2 大阪府立図書館天王寺分館蔵大原文庫洋書分類目録 第3冊（大阪府立図書館シリー  
ズNo.18）
- 3 大阪府立図書館蔵漢籍目録 新学部・補遺 書名索引（大阪府立図書館シリーズNo.16）
- 3 大阪府立図書館蔵市河文庫・斎藤文庫目録（大阪府立図書館シリーズNo.19）
- 3 大阪府立図書館和漢図書分類表 改訂2版（十進分類）
- 10 特許公報・実用新案公報出願者名索引（昭和42年度前期版）
- 12 大阪府立図書館天王寺分館蔵大原文庫洋書分類目録 第1冊（大阪府立図書館シリー  
ズNo.20）
43. 1 欧文科学技術雑誌所在目録 1967年3月末現在
- 3 大阪府立図書館天王寺分館蔵大原文庫洋書分類目録 第4冊（大阪府立図書館シリー  
ズNo.21）
- 3 大阪府立図書館蔵石崎文庫目録（大阪府立図書館シリーズNo.22）
- 3 大阪府立図書館蔵韓本目録（大阪府立図書館シリーズNo.23）
- 3 大阪府立図書館蔵松下文庫分類目録（大阪府立図書館シリーズNo.24）
- 10 大阪府立図書館蔵芝居番附目録（大阪府立図書館シリーズNo.25）
44. 2 大阪府立図書館図書分類表 第2次改訂版（十進分類）
- 3 大阪府立図書館天王寺分館蔵書目録
- 3 大阪府立図書館天王寺分館蔵大原文庫和漢書分類目録（大阪府立図書館シリー  
ズNo.26）



- 昭 44. 3 大阪府立図書館増加図書目録 昭和42年度（昭和47年度まで続刊）  
 3 奥田家文書 第1巻（全15巻 昭和51年7月まで続刊）
45. 2 大阪府立図書館蔵書目録 洋書 第1～3巻  
 3 大阪府立図書館蔵社史・経済団体史目録（大阪府立図書館シリーズNo.27）  
 3 大阪府立図書館蔵朝日新聞文庫目録（大阪府立図書館シリーズNo.28）  
 10 大阪府立図書館新聞雑誌目録 昭和45年度（昭和51年度まで）
46. 2 商工室利用の手引  
 3 遡遊従之  
 3 大阪府立図書館蔵書目録 第6～13巻  
 3 大阪府立図書館蔵万国博覧会関係資料目録（大阪府立図書館シリーズNo.29）  
 3 大阪府立図書館蔵玄武洞文庫解題目録（大阪府立図書館シリーズNo.30）  
 3 大阪府立図書館参考事務必携  
 3 全国移動図書館研究集会報告書 昭和45年度  
 3 大阪公共図書館逐次刊行物総合目録  
 11 府立図書館の変遷と中之島
47. 大阪府立図書館ごあんない  
 1 柏原家文書目録 付 誉田八幡宮文書目録（大阪府立図書館シリーズNo.31）  
 3 欧文科学技術雑誌所在目録 1971年版（大阪府立図書館シリーズNo.32）  
 3 大阪府立図書館蔵書目録 第1～5, 14～16巻（全16巻完成）  
 10 としょかんで借りて読むどうぶつの本
48. 3 大阪府立図書館特許資料の整理要項  
 3 大阪府立図書館蔵逐次刊行物目録 和漢書の部 改訂増補（大阪府立図書館シリーズNo.33）  
 10 こどものための100冊の本 1973  
 12 大阪府立図書館蔵近代日本文学合集索引（大阪府立図書館シリーズNo.34）
49. 3 大阪府立図書館参考事務必携 資料編
50. 1 大阪府市町村等刊行物収集目録 昭和49年6月末現在（現在まで続刊）  
 1 大阪府立中之島図書館蔵公害関係資料目録（大阪府立図書館シリーズNo.35）  
 3 大坂本屋仲間記録 第1巻刊行（平成5年3月全18巻完成）  
 3 大阪府立図書館蔵玄武洞文庫目録 2  
 3 大阪府立中之島図書館増加図書目録 昭和48年度（平成元年度まで続刊）
51. 3 大阪府立中之島図書館和漢書目録規程
53. 3 大阪府史 第1巻刊行（平成3年3月 全7巻 別巻1完成）  
 10 大阪府立中之島図書館蔵織田文庫目録（大阪府立図書館シリーズNo.36）

- 昭 55. Classification Table of Foreign Books 3rd ed.  
 2 大阪府公共図書館逐次刊行物総合目録 永年保存分  
 12 大阪府立中之島図書館増加図書書名累積索引（和漢書）昭和42～53年度  
 56. 2 大阪府立中之島図書館蔵川田文庫目録Ⅰ（大阪府立図書館シリーズNo.37）  
 3 大阪府立中之島図書館増加図書累積索引（洋書）昭和42～53年度  
 57. Classification Table of Foreign Books 4th ed.  
 3 大阪府立中之島図書館図書分類表 改訂3版（十進分類）  
 59. 2 創立80周年記念誌 善本八十選  
 3 大阪府立図書館蔵逐次刊行物等総合目録 和漢書の部 昭和58年  
 3 大阪近辺類縁機関名簿  
 61. The Osaka Prefectural Library System 大阪府立図書館のあらまし  
 62. 10 大阪府立中之島図書館蔵川田文庫目録Ⅱ（大阪府立図書館シリーズNo.38）  
 平 3. 3 大阪府立中之島図書館蔵三井文庫目録  
 5 大阪府立中之島図書館蔵藤沢文庫目録（大阪府立図書館シリーズNo.39）  
 4. 3 大阪府立中之島・夕陽丘図書館増加図書目録 平成2年度（以後現在まで続刊）  
 3 大阪府立中之島・夕陽丘図書館増加図書書名累積索引 和漢（一般）書の部 1～5  
 巻 昭和57～平成元年度

〈付 記〉

この総覧の作成に当たっては、「大阪府立図書館目録・分類の変遷」（『大阪府立図書館紀要』第3号）、「大阪府立図書館刊行物目録」（『なにわづ』No.8）、および当館の刊行物類の記録を参考にし、現物の確認を進めた。但し、記録がありながら、現物の確認をしえなかったものについては\*印を付す。

展覧会については、別途掲載したので目録の発行があっても削除した。

## 付録2 当館展覧会総覧

当館の第1回図書展覧会は、開館の年、明治37年に開かれた。以降平成2年の「懐徳堂の人々展」に至るまで計120回を越す展覧会を開催してきた。改めて各テーマを振り返って見ると、それぞれの時代背景を映し出していて興味深い。

明治の第1回展から昭和の終戦直後までは、主として館外の個人又は団体所蔵の稀観書等を借用した大規模な展覧会であった。その後は当館所蔵の資料を駆使して展示してきた。これらの各種テーマを掲げた展覧会は、その都度マスコミにも取り上げられ、多くの人々の関心を引き、公共図書館としての一つの役割を果たしてきた。ここに90年間の当館展覧会総覧を付す。

### 明 治

番号	開催年月日	展 覧 会 名
1	37. 5 / 14 ~ 5 / 16	第一回図書展覧会
2	39. 4 / 21 ~ 4 / 22	第二回図書展覧会
3	42. 11 ~ 43. 1	稀観図書陳列 第一回
4	43. 1 ~ 43. 4	稀観図書陳列 第二回：風俗〈特に大阪の〉に関する図書
5	43. 5 ~ 43. 7	稀観図書陳列 第三回：大阪人又は大阪在住者の稿本
6	43. 11 ~ 44. 2	稀観図書陳列 第四回：古浄瑠璃并絵入細字浄瑠璃本
7	44. 3	稀観図書陳列 第五回：古拓法帖
8	44. 5	稀観図書陳列 第六回：和歌、俳句、狂歌の短冊
9	44. 5 / 31	本朝金石文展覧会
10	44. 6 / 30	稀観図書陳列 第七回：本邦先哲書翰
11	44. 10 / 5	懐徳堂先哲遺墨并遺書展

### 大 正

12	2. 10 / 25 ~ 10 / 26	稀観図書陳列 第八回：和漢書目	
13	3. 2 / 25	現代著述家の手稿および肖像展	第10回開館記念
14	4. 2 / 25	先賢ノ遺物其他関係資料展	第11回開館記念
15	4. 10 / 31 ~ 11 / 20	皇 宮 関 係 大 阪 府 郷 土 資 料 展	
16	5. 2 / 25	贈 正 位 豊 臣 秀 吉 公 関 係 資 料 展	第12回開館記念



番号	開催年月日	展覧会名
17	6. 2 / 25	旧懐徳堂 遺書および遺物展 英国特許公報・商標公報及特許商標判決録展 第13回開館記念
18	8. 2 / 25	大阪名家稿本展 第15回開館記念
19	9.	都市計画参考資料展
20	13. 2 / 25～3 / 6	贈位先賢資料展 第20回開館記念
21	15. 2 / 25～3 / 1	有竹斎珍藏展覧会（上野理一翁秘蔵書画）
22	15. 11 / 4～11 / 9	懐徳堂水哉館遺書遺物展覧会
23	15. 11 / 25～11 / 29	浪速叢書所収図書展 浪速叢書刊行会主催

## 昭和

24	3. 5 / 20	本館貴重図書展 創立25周年記念
25	3. 5 / 26～6 / 5	和漢本草図書展覧会
26	3. 11 / 1～11 / 7	御大禮 奉祝記念 宮内省図書寮図書展
27	4. 3 / 21～3 / 31	開国文化展 大阪朝日新聞社主催展の第四会場
28	4. 5 / 18～5 / 29	醍醐天皇一千年 御遠忌記念 醍醐寺宝物展 醍醐寺主催
29	4. 10 / 29～11 / 5	高野版展
30	5. 10 / 6～10 / 12	葛城高貴寺所蔵慈雲尊者遺著展
31	6. 5 / 22～5 / 26	論語展
32	6. 10 / 11～10 / 15	玄々堂 紀念 日本銅版画展
33	8. 3 / 17～3 / 19	鴻池男爵家 秘蔵 扇面書画特別展
34	8. 4 / 1～4 / 3	近畿善本展 創立30周年記念
35	8. 11 / 18～11 / 19	高木利太遺書古活字版展
36	10. 3 / 26～3 / 28	恭仁山莊善本展（内藤湖南博士蔵善本展）
37	10. 4 / 24～4 / 26	特許発明に関する図書文献展
38	10. 5 / 12～5 / 14	橋本曇斎先生関係資料展 橋本曇斎先生百年記念会主催
39	10. 10 / 18～10 / 20	尾州 大須 真福寺善本展
40	10. 11 / 5～11 / 7	勲王 憲王 佐久良東雄遺墨文献展
41	11. 6 / 12～6 / 14	富岡文庫善本展
42	12. 6 / 18～6 / 20	孝経善本展

番号	開催年月日	展覧会名
43	13. 10/16～10/18	郷土先儒遺著展
44	13. 11/25～11/27	代用品資源ニ関スル外国特許文献展
45	14. 5/20～5/24	欧米工業雑誌カタログ展 東京：藤山工業図書館共催
46	15. 1/19～1/21	皇紀二千六百年記念 国史善本展
47	15. 9/27～9/29	新兵器工業外国特許文献展
48	17. 3/27～3/29	敵国人所有 日本特許権文献展
49	17. 10/12～10/14	南方渡海古文献展
50	18. 9/12～9/14	川崎巨泉画伯遺墨人魚洞文庫絵本展
51	18. 11/5～11/7	航空発明文献展
52	19. 5	潜水艦外国発明文献展
53	19. 9/27～9/29	航空機外国特許文献展
54	21. 11	図書月次展第1回：近世大阪出版物半百人一選
55	21. 12	図書月次展第2回：上代仏像彫刻（図版）展覧会
56	22. 1/13～1/24	図書月次展第3回：亥歳に因む図書展－巨泉画伯のおもちゃの猪絵を中心として－
57	22. 6	宿久の庄古墳の出土品特別展
58	22. 11	茶道文化展覧会
59	28. 11	創立50周年記念展
60	37. 4/23～5/31	第一回 資料展 書物装訂の変遷
61	37. 7/1～7/31	陳列室 第二回 資料展 大阪古絵図展
62	38. 10/24～11/20	日本の新聞展
63	39. 1/4～1/31	日本の正月展
64	39. 5/4～5/30	端午の節句に関する資料展
65	39. 6/19～7/31	日本の事典展
66	40. 9/1～9/29	近畿地方の名所図会展
67	40. 10/27～11/29	文学賞受賞作品並に關係新聞雑誌展
68	41. 1/5～1/29	分類五六八（各国の社会状態）の図書展
69	41. 4/1～4/30	万葉の薬用植物展
70	41. 5/1～5/7	覚峰阿闍梨關係資料展
71	41. 5/16～6/15	夏目漱石作品展

番号	開催年月日	展覧会名
72	41. 9 / 5 ~ 10 / 4	ベストセラーの変遷展
73	41. 10 / 27 ~ 11 / 29	本の知識展
74	42. 1 / 5 ~ 2 / 4	番附展
75	42. 3 / 1 ~ 3 / 30	会場を各国万国博覧会資料展 中心とした
76	42. 3 / 15 ~ 3 / 28	ペーパーボックス資料展
77	42. 5 / 10 ~ 5 / 30	桜桃忌にちなんで-太宰治の跡をたどって-
78	42. 7 ~ 1 / 7 / 29	自然科学史における名著展
79	42. 10 / 27 ~ 11 / 9	あなたの読書のために-灯下の100冊(第2集)展
80	42. 11 / 8 ~ 11 / 9	新蔵 川田順関係資料展 川田順詠草歌碑落成記念
81	43. 1 / 16 ~ 1 / 30	百人一首の世界展
82	43. 3 / 4 ~ 3 / 30	明治百年関係資料展
83	43. 6 / 1 ~ 6 / 29	石崎文庫展
84	43. 10 / 21 ~ 11 / 22	明治百年記念展
85	44. 1 / 16 ~ 1 / 30	資料で見る芝居の世界
86	44. 4 / 1 ~ 4 / 19	日本の会社社史展
87	44. 6 / 23 ~ 6 / 28	コンピューター関係資料展
88	44. 8 / 25 ~ 8 / 30	大学関係資料展
89	44. 10 / 27 ~ 11 / 1	あなたの読書のために-灯下の100冊(第3集)展
90	45. 3 / 16 ~ 3 / 30	日本万国博資料展
91	45. 4 / 20 ~ 5 / 9	OECD刊行物展
92	45. 5 / 16 ~ 5 / 22	「朝日新聞」文庫展
93	45. 6 / 2 ~ 6 / 6	英国図書展
94	45. 10 / 27 ~ 11 / 2	あなたの読書のために-灯下の100冊(第4集)展
95	46. 5 / 7 ~ 5 / 12	ディッケンズ100年記念図書展
96	46. 10 / 27 ~ 11 / 9	日本近代文学館名著復刻資料展
97	48. 5 / 21 ~ 5 / 26	大阪の摺物展
98	49. 2 / 20 ~ 2 / 27	本館発祥以来の歴史をたどる関係資料展 創立70周年記念
99	50. 3 / 24 ~ 3 / 29	大塩平八郎資料展
100	51. 11 / 1 ~ 11 / 13	明治文芸資料展
101	52. 10 / 24 ~ 10 / 29	近世大阪の出版資料展

番号	開催年月日	展覧会名
102	53. 11/6～11/11	本館所蔵 西鶴本展
103	54. 1/10～1/20	織田作之助資料展－資料が語る織田文学とその素顔－
104	54. 11/12～11/17	1970年代話題の本展
105	55. 3/17～3/22	わが町おおさか－資料で見る大阪案内－
106	55. 11/4～11/10	浪花文人 自筆本展－近世から近代まで－
107	56. 3/9～3/14	「川田文庫」公開記念 川田順資料展
108	56. 11/9～11/14	本のすがた展－製本と装幀のあれこれ－ 特別展示：藤原定家「明月記」断簡
109	57. 3/15～3/20	外国人のみた現代にっぽん展
110	57. 11/8～11/13	地図展－その今昔－
111	58. 3/14～3/19	本館所蔵 復刻雑誌展
112	58. 11/7～11/12	おおさかの街・明治と昭和
113	59. 3/1～3/7	大阪府立中之島図書館創立八十周年記念 善本八十選展
114	59. 11/2～11/29	韓国古印刷文化展 駐大阪大韓民国総領事館共催
115	59. 12/10～12/26	紙の劣化－書物の危機を考える－
116	60. 11/25～11/29	大阪府立中之島図書館所蔵絵画展－絵にみる大阪－
117	61. 4/14～4/18	川田順資料展－川田順の生涯と作品－
118	61. 11/10～11/14	当館所蔵親鸞関係書展
119	62. 3/9～3/13	錦絵でみる明治初年の大阪
120	62. 10/26～10/30	「こんな本も入りました」総集編展
121	63. 3/7～3/11	折口信夫の世界－生誕100年記念展－
122	63. 11/17～11/22	おおさか図書館フェスティバル 於：松坂屋

## 平成

123	1. 10/23～10/27	藤沢桓夫と周辺の人々－追悼藤沢桓夫資料展－
124	2. 12/10～12/14	懐徳堂の人々展－館蔵資料展－

### 〈付記〉

この総覧は、残存する展示目録、年報、要覧、決裁書類、「大阪府立図書館五十年史略」「大阪府立図書館の展覧会」（多治比郁夫／紀要3号所収）、及び「陳列室の展示会」（三谷久子／紀要20号所収）等を参考に作成した。



---

## ■編集ノート

中之島図書館の90年史をおとどけする。館資料を中心に楽しい視覚的な構成を試みた。歴史のある当館、探すとさすがに新発見の資料にも出会う。おりしも巻は西鶴没後300年忌を終えたところ。次回は当館も創立100周年を迎えるので、西鶴忌をしのぐ多彩な企画を練ってみたい——と願っている。  
(高松)

---

表紙／絵・生田 花朝「天神祭」  
(当館所蔵)

題字・織田作之助  
(当館所蔵草稿より集字)

---

---

90周年記念事業委員

総括 鈴木 永二

編集 高松 敏男

恩賀 敬子

小幡由美子

垣口弥生子

白川 慶悟

写真 広瀬五兵衛

---

## 大阪府立中之島図書館90年

---

発行日 平成6年2月25日

発行 大阪府立中之島図書館

〒530 大阪市北区中之島1-2-10

Tel 06(203)0474

印刷 カツヤマ印刷

〒543 大阪市天王寺区国分町5-1

Tel 06(771)1000

---



大阪府章